RM-AT700MK
取扱説明書

Main illustration by 鳥越タクミ
Icons Designed by Takumi Yoza

取扱説明書は **【本体機能操作編】** と **【ナビゲーション機能操作編】** の２部構成となっております。

ナビゲーションソフトの使用方法につきましては、５1ページ目からの **【ナビゲーション機能操作編】** の内容をご参照ください。

本取扱説明書は株式会社アール・ダブリュー・シーのホームページの製品情報(下記URL)からご覧いただくことができます。
http://www.rwc.co.jp/product/rmat700mk/index.html

取扱説明書【本体機能操作編】

【本体機能操作編】目次

- ●本製品の取扱説明書は**【本体機能操作編】**と**【ナビゲーション機能操作編】**の**2部構成となっております。**
- ●**ナビゲーションソフトの使用方法**につきましては、**51 ページ目からの【ナビゲーション機能操作編】**の内容をご参照ください。
- ●**製品仕様は 50 ページ**に、**保証書**／**保証規約**は**別紙クイックガイド**に記載されております。

1. はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用いただくため、本取扱説明書をよくお読みください。

本製品について

●本製品はカーナビゲーションです。 車に装備して使用し、GPS(グローバル·ポジショニング·システム)、および詳細なマップ(地図)を含みます。

●本製品では、液晶タッチパネルに指やスタイラスペンなどで触れることにより、操作を行うことができます。

●本製品および取扱説明書は、製品改善のため予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

●本説明書内のイラストおよび画面図等は開発途中の物であり、実際と異なる場合があります。

●本製品の故障、弊社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、弊社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用上の注意

●本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。これによる故障は保証対象外となります。 また、スタンドからの落下による破損·故障·事故等につきましても保証対象外となります。

●高温多湿の場所、ホコリの多い場所での使用や放置はおやめください。これによる故障や火災等につきましては保証の対象外となります。

●本製品を水の中に入れたり、濡れた手で操作しないでください。 これによる故障や感電等につきましては保証の対象外となります。

●本製品で使用する周辺機器は、必ず純正品をお使いください。 純正付属品以外の機器を使用しての故障·不具合につきましては、保証の対象外となります。

●本製品のお客様ご自身による分解·改造は行わないでください。故障や感電の原因となるおそれがあります。また、これによって発生する故障·不具合につきましては、保証の対象外となります。

●本製品の近くに金属を置かないでください。 GPSデータの受信に悪影響をおよぼすおそれがあります。

●本製品の近くに電磁波を生じる物を置いたり、一緒に作動させないでください。誤作動を起こすおそれがあります。

- シガーケーブルを接続し、エンジンを切った状態で本製品を長く使用すると車のバッテリーが消耗されますのでご注意ください(お車の故障については保証対象外です)。
- 異臭がしたり煙が出た場合などは、すぐに使用を中止してください。
- 本製品に無理な力がかかるとタッチスクリーン、内部基板等が破損するおそれがあります。
- 先のとがったものなどで操作するとタッチスクリーンが破損するおそれがあります。
- 内蔵バッテリーは、本製品を使用しない間も少しずつ自然放電していきます。ご使用になるときは、こまめに充電することをおすすめします。
- メモリに記録されたデータは、誤操作、機器の故障、修理などで壊れたり消えることがあります。大切なデータはパソコンのハードディスクなどにバックアップして保存されることをおすすめします。音楽データなどの記録内容が再生不能となった場合、弊社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- タッチスクリーンは画面の一部に点灯しない画素や、常時点灯する画素がある場合があります。また、角度によって色むらや明るさにむらができる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、弊社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用前は充電を

ご購入時はバッテリーの充電はされていません。初めて本製品をご使用する時は充電を行ってください。(もしくはお車にてシガーケーブルを接続し、エンジンをかけてご使用ください。)充電量が十分でない場合、電源はオンになりません。

GPS信号の受信は屋外で

GPSは、人工衛星からの信号を受信して自車位置を特定するシステムです。 ご自宅の部屋など、**屋内では信号を受信することができません**ので**屋外環境にてGPS信号の受信を行ってください**。

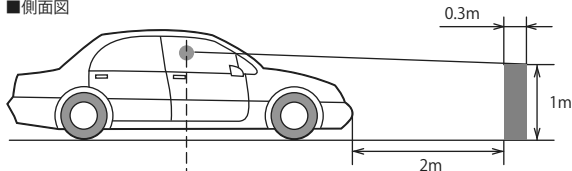
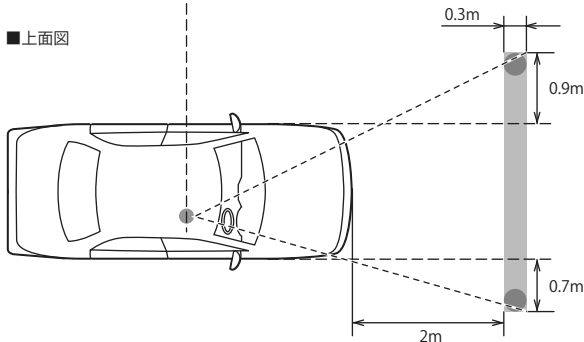
- **受信には数分〜30分以上の時間がかかる場合があります。**
- **初めてのご使用時、または長期間ご使用がなかった場合、受信までの時間が長くかかることがありますが故障ではありません。**
- 人工衛星の軌道により、同じ時間帯・同じ場所でも毎日の受信時間は異なります。
- すべての商業用目的のGPSは平均15m程の差異が生じる事をあらかじめご理解ください。
- **人工衛星からのGPS信号の強度・感度について保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**

お車への取り付け場所ついて

前方の視界を妨げない場所に取り付けてください。
国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、運転者の視界を妨げないように下記の前方視界基準に従って取り付けてください。
※道路運送車両の保安基準　第21条（運転者席）、細目告示　第27条および別添29

●対象車種
専ら乗用の用に供する乗車定員10人以下の自動車または、車両総重量が3.5 トン以下の貨物自動車

●基準概要
自動車の前方2mにある高さ1m直径0.3mの円柱の少なくとも一部を、鏡等を用いず直接視認できること。

注）左図は右ハンドル車の場合です。
　左ハンドル車の場合は左右逆になります。

ワンセグ(TV)について

ワンセグは放送局からの電波を直接受信するため、受信環境や使用状態によっては受信できない場合がありますが故障ではありません。本製品は放送局からの電波受信を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

- **放送エリア内でも、地形や構造物(建物内や地下)といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できない場合があります。**
- **携帯端末用の放送サービスのため、画像が粗く感じられたり、映像がなめらかでない場合がありますが故障ではありません。**
- **放送局からの電波強度・感度について保証するものではありません。**
- ご使用の際は本製品上部にあるアンテナを引き伸ばしてご使用ください。

本製品のナビゲーションシステムについて

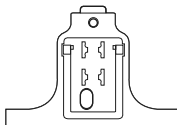
本製品のナビゲーションシステムは、株式会社ゼンリンの地図データを使用したナビゲーションシステムです。
(©2012 ZENRIN CO., LTD)

●収録情報について
経路探索用は、2 万 5 千分の 1 地形図(国土地理院発行)上の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。
交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転して下さい。
道路データは、高速・有料道路についてはおおむね 2012 年 8 月、国道・都道府県道についてはおおむね 2012 年 5 月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

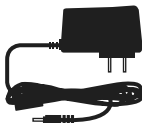
パッケージ内容

①本体

②吸着式スタンド

③ホールド用台座

④スタンドカップ

⑤シガー(DC)ケーブル
（電源ケーブル）

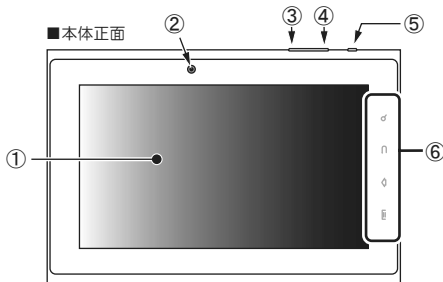
⑥ACアダプター

⑦USBケーブル

⑧イヤホン

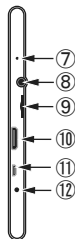
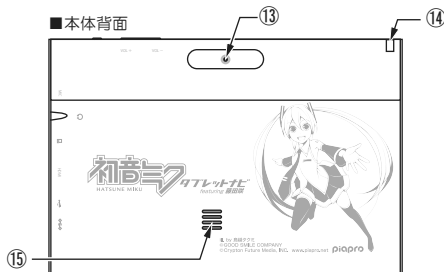
⑨クイックガイド
（保証書付）

- 本製品で使用する周辺機器は必ず純正品をお使いください。純正付属品以外の機器を使用しての故障・不具合につきましては保証の対象外となります。
- 付属品に関しては消耗品となります。初期不良以外は保証の対象外となります。
- スタンドカップはお車のダッシュボードに粘着剤（両面テープ）で固定するものです。その特性上、一度固定した物は再び取り付けることが困難となります。取り付けの際は固定場所について十分にご注意ください。また、全面がしっかり貼り付けられる場所に取り付けてください。落下等の破損、故障、事故につきましては保証対象外となりますのでご注意ください。

2. 製品の概略

各部の名称

■本体正面

① タッチパネル	指等で直接触れて操作を行います。
② フロントカメラ	本体正面側のカメラです。
③ 音量－ボタン	音量を小さく調整します。
④ 音量+ボタン	音量を大きく調整します。
⑤ 電源ボタン	電源のオン／オフ操作を行います。
⑥ ナビゲーションキー	検索　：テキスト検索を行います。長押しすると音声検索を行います。
	戻る　：前の画面に戻ります。
	ホーム　：ホーム画面に移動します。
	メニュー：表示されている画面のメニューを表示します。

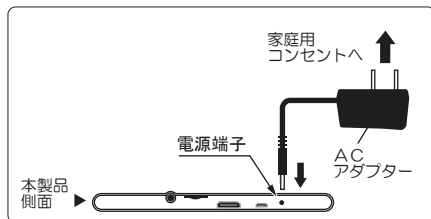
2. 製品の概略

⑦ マイク	音声入力を行う際に使用します。
⑧ 3.5mmイヤホンジャック	本製品付属のイヤホン等と接続するイヤホン端子です。
⑨ SDカードスロット	マイクロSDカードを挿入するスロットです。(※マイクロSDカードは別売り)
⑩ HDMI端子	ミニHDMI端子(TypeC)です。HDMIケーブル(別売り)を接続します。
⑪ USB端子	パソコンと接続するマイクロUSB端子(TypeB)です。
⑫ 電源端子	ACアダプター、シガー(DC)ケーブルと接続する電源端子です。
⑬ 背面カメラ	本体背面側のカメラです。
⑭ ワンセグ用アンテナ	ワンセグを視聴する際に引き伸ばして使用します。
⑮ スピーカー	音声が出力されます。

3. 基本的な操作

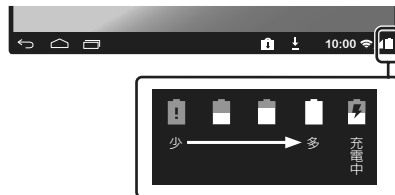
3-1 充電する

本製品の内蔵電池に充電して使用します。初めてご使用になる場合や長時間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してください。

※お車のシガーアダプターと付属のシガー(DC)ケーブルの接続中にも充電を行うことができます。(エンジンをかけた状態)

■ACアダプターを使用しての充電

充電時間の目安　●ACアダプター充電 約3時間
ナビ連続使用時間　●約4.5時間(内蔵充電池使用時)

※充電時間、ナビ連続使用時間はあくまで**目安**となります。環境や画面の明るさ設定・音量設定などによって変動します。

■電池残量の表示

■電源オフ時

電源がオフの際にも充電ができます。充電が開始された時に画面に左図のマークが表示されます。

本製品の内蔵電池は正しく扱ってください。正しく扱わないと火災等の原因となります。

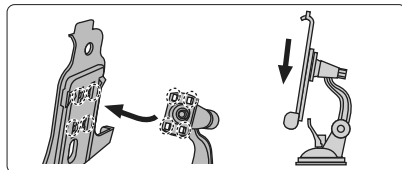
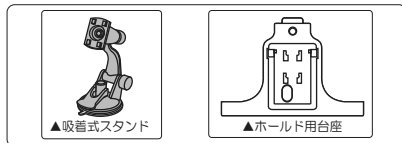
- ●本製品を分解しないでください。
- ●本製品を高温の場所に置かないでください。また、火にくべないでください。
- ●直射日光のあたる場所や、窓を閉め切った車の中などに置かないでください。
- ●ACアダプターは本製品付属のもの以外は使用しないでください。

3. 基本的な操作

3-2 お車へのセッティング

(1) 吸着式スタンドにホールド用台座を取り付けます。吸着式スタンドの凹凸にホールド用台座の穴を合わせ、上から下方向へしっかりとはめこんでください。

▲吸着式スタンド

▲ホールド用台座

ご購入時は取り付けしにくい場合があります。破損しないように気をつけてはめこんでください。
※ケガをしないようにご注意ください。

(2) 車のダッシュボードにスタンドカップを取り付けます（スタンドカップ裏側の両面粘着剤を使用して接着します）。取り付けたスタンドカップに吸着式スタンドの吸着盤を押しつけ、スタンドのレバーを下に倒して固定します。

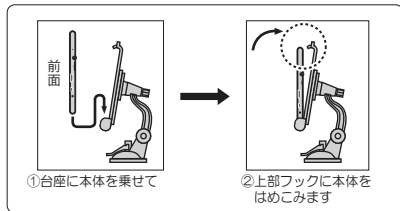
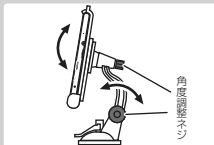
▲スタンドカップ

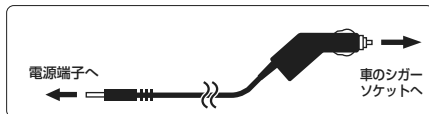
スタンドカップを接着する場所は、あらかじめホコリや汚れ等をふきとってください。
汚れたままで接着すると粘着力の低下につながります。

❗スタンドカップはお車のダッシュボードに粘着剤（両面テープ）で固定するものです。その特性上、一度固定した物は再取り付けが困難となります。取り付けの際は固定場所について十分にご注意ください。また、全面がしっかり貼り付けられる場所に取り付けてください。落下等の破損、故障、事故につきましては保証対象外となりますのでご注意ください。

3. 基本的な操作

(3)ホールド用台座の下部に本体を乗せ、次にホールド用台座の上部フックに本体をしっかりとはめ込みます。

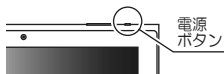
①台座に本体を乗せて　②上部フックに本体をはめこみます

本製品の角度を調整する場合は、吸着式スタンドの角度調整ネジをゆるめて、お好みの角度にしたあと、角度調整ネジを再びしめて、固定してください。

3-3 シガー (DC) ケーブルの接続

本製品に電源を供給するため、お車のシガーソケットと本製品側面の電源端子に付属のシガー（DC）ケーブルを接続します。

- ●運転に支障をきたす場所（シフトレバー付近など）や、運転視野を妨げる場所（フロントガラスなど）への設置はおやめください。事故の原因となるおそれがあります。
- ●シガー（DC）ケーブルのプラグは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発熱し発火の原因となるおそれがあります。
- ●シガーソケットの内部に異物（タバコの灰など）が入ると、接続不良による発熱･発火の原因となるおそれがあります。
- ●接続部品は必ず本製品の純正品をお使いください。純正付属品以外の機器を使用しての故障･不具合につきましては保証の対象外となります。

3. 基本的な操作

3-4 電源オン／オフ／スリープモード

■電源オン

（1）お車のエンジンをかけ、本体上部にある「電源タン」を長押し（約5秒）します。

（2）電源が**オン**になると、本体起動画面が表示された後、「ホーム画面」が表示されます。

■ホーム画面

実際の画面とは異なる場合があります。

■電源オフ

（1）電源オンの状態で本体上部左の『電源ボタン』を「電源を切る」のウィンドウが出るまで長押し（約5秒）します。

（2）「OK」をタッチします。

■スリープモード

スリープモードとは、電源を完全にオフにせず、画面のみ消灯する機能です。 スリープモードを解除する場合は電源ボタンを短く1回押してください。

バッテリーの消費を抑えるため、一定時間操作されない場合に、自動的にパネルのバックライトを消灯します。消灯するまでの時間を設定するには、「設定」→「ディスプレイ」→「スリープ」を選択し、15秒～30分の間で設定してください。

3. 基本的な操作

3-5 タッチスクリーン

本製品の操作は3つのボタンと、タッチスクリーンの画面、及びナビゲーションキーで行います。指先で画面上のアイコン、ボタン、ソフトキーボード等を操作します。

■タッチスクリーンの操作法

タッチ	軽く画面を押します。アプリケーションの起動やソフトキーボードの文字入力で使用します。
長押し	画面を長く押します。
ドラッグ	画面に指を置いたままなぞって指を離します。
フリック	画面に指を置いてすぐに上下左右に動かします。
ダブルタッチ	軽く叩くようにすばやく2回押します。
ピンチ	画面を2本の指で触れ(マルチタッチ)指の間隔を広げたり狭めたりします。画面の拡大/縮小などする際に使います。

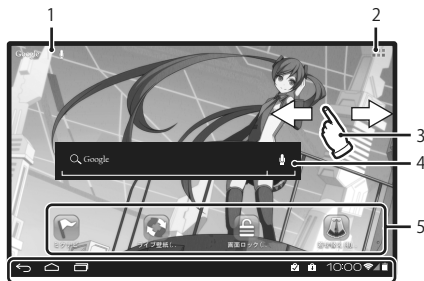
本体正面(縦置きの場合)

■ナビゲーションキー

(メニューアイコン)	メニュー	表示されている画面のメニューを表示します。
(ホームアイコン)	ホーム	ホーム画面に移動します。
(戻るアイコン)	戻る	前の画面に戻ります。
(検索アイコン)	検索	テキスト検索を行います。長押しすると音声検索を行います。

3. 基本的な操作

3-6 ホーム画面

電源を入れた時に下図のような「ホーム画面」が表示されます。
ホーム画面上のアイコン等をタッチすることによって本製品の様々な機能を使うことができます。

実際の画面とは異なる場合があります。

1	検索	タッチすると検索を行うことができます。 Google：タッチすると検索バーが表示されます。入力するとウェブ（Wi-Fi 接続時）や端末内を検索することができます。 （マイク）：タッチすると音声でウェブ検索ができます。（Wi-Fi 接続時のみ）
2	ランチャータブ	本製品にインストールされているアプリケーションを一覧で表示します。
3	画面拡張	画面自体を左右にスワイプ（画面をドラッグしてスライドさせること）するとホーム画面の左右にさらに2画面分のスペースが表示され、アイコンやウィジェット等を置くことができます。
4	ウィジェット	ウィジェットとは、アプリケーションの代表的な機能を画面に貼り付けるものです。 例：左図では「Google検索」のウィジェットが貼り付けられています。
5	アプリのショートカット	ショートカットアイコンをタッチするとアプリケーションが開きます。

「ウィジェット」や「アプリのショートカット」をホーム画面に作成するには、「ランチャータブ」をタッチして、左上の「アプリ」か「ウィジェット」を選択します。追加したい「アプリ」か「ウィジェット」を長押しして、ホーム画面にドラッグしてください。

3. 基本的な操作

3-7 システムバーについて

システムバーには以下の種類があります。

実際の画面とは異なる場合があります。

■ナビゲーションバーについて

ナビゲーションバーのアイコンをタッチするとナビゲーションキーと同様に画面の操作をすることができます。

↩	戻る	1つ前の画面に戻ります。
﹀	閉じる	ソフトウェアキーボード等を閉じます。
⌂	ホーム	ホーム画面に戻ります。
▭	アプリケーションのリスト	現在動作中のアプリケーションのリストを表示します。タッチすることで切り替えることができます。 リストのアプリケーションを長押しすると、「リストから削除」、「アプリ情報」が選択できます。

3. 基本的な操作

■ステータスバーについて

本体の状態を示すアイコンが表示されます。
アイコンをタッチすると内容が確認できます。

主な通知アイコン

名称	説明
新着Gメール	新しいGメールが届くと表示されます。（Wi-Fi接続時のみ）
ダウンロード	アプリケーション等のダウンロードが進行中の際に表示されます。（Wi-Fi接続時のみ）
ダウンロード完了	インストールが完了した際に表示されます。（Wi-Fi接続時のみ）
アップデート	アプリケーション等のアップデートの情報がある場合に表示されます。（Wi-Fi接続時のみ）
USB接続	USBでパソコンと接続されています。
キーボード	キーボードが選択できます。

主なステータスアイコン

名称	説明
ネットワーク	Wi-Fiの接続状況を表示します。 弱 → 強 未接続の場合は「インターネット未接続」と表示されます。Wi-Fiネットワークに接続すると、青色で表示されます。 接続が不安定な場合はグレーで表示されます。
電池	電池残量を表示します。 少 → 多　充電中

使用するアプリケーションによりその他の通知が表示される場合があります。

3. 基本的な操作

ステータスアイコンをタッチすると、ステータスの情報が表示されます。

ステータスアイコンの情報をタッチすると、設定できる項目が表示されます。
再度ステータスバーをタッチすると通常の表示に戻ります。

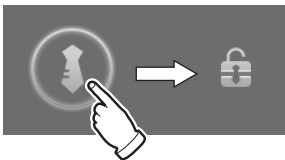
アイコン	項目	説明
	機内モード	ON: Wi-Fiの通信をおこないません。 OFF: 通常の状態です。 Wi-Fiの通信を行うことができます。
	Wi-Fi	Wi-Fiの設定を行います。 詳しくは34ページ、44ページをご覧ください。
	自動回転画面	縦置き、横置きに対応し、画面が回転する機能のオン/オフを行います。
	画面の明るさ	画面の明るさを調整します。 「オート」をタッチすると、画面の明るさが自動的に調整されるように設定されます。 右のスライドバーを調整すると画面の明るさを手動で設定することができます。
	通知	本製品の通知機能のオン/オフを行います。通知については16ページをご覧ください。
	設定	本製品の設定項目を表示します。 詳しくは44〜49ページをご覧ください。

3. 基本的な操作

3-8 ロック画面の解除

本製品では「スリープ」から復帰した際に画面をロックすることができます。
スリープモードについては12ページをご覧ください。

【画面ロックについて】
電源ボタンを短く押すと画面が画面が消え、「スリープ」になります。もう一度電源ボタンを押すと、画面が点灯しロック画面が表示されます。

■ロック画面（拡大図）

をタッチしたまま、 に移動すると画面ロックが解除されます。

画面ロックは工場出荷状態では「**画面ロック(初音ミク)**」が有効になっています。
「画面ロック(初音ミク)」については25ページをご覧ください。

工場出荷状態では、デフォルトの画面ロックが「なし」に設定されています。
初音ミク(画面ロック)を解除してデフォルトの画面ロックに設定する場合は26ページの「**■画面ロック(初音ミク)の常時起動を解除する**」をご覧になり、「画面ロック(初音ミク)」の設定を解除します。
設定を解除したら、「設定」→「セキュリティ」→「画面のロック」から設定する画面ロックを選択してください。

3. 基本的な操作

3-9 画面の回転

本製品にはセンサーが組み込まれています。本製品を横向き/縦向きにすると、自動的に横画面の表示/縦画面の表示に切り替わります。

※「設定」→「ディスプレイ」→「画面の自動回転」でオン/オフにすることができます。
※アプリケーションによっては画面の回転に対応しておりません。

3-10 文字入力について

文字を入力する際にはソフトウェアキーボードを使用します。

■ソフトウェアキーボードの選択

本製品の「設定」→「言語と入力」→「キーボードと入力方法」から「デフォルト」を選択し、入力方法(キーボード)を選択してください。

3. 基本的な操作

3-11 Google アカウント

Googleアカウントを本製品に設定すると、Gmail、Googleトーク、Googleカレンダー、Google PlayなどのGoogleサービスを利用することができます。本製品には複数のアカウントを設定することができます。

■Googleアカウントの設定

(1)アプリケーション画面で「設定」アイコンをタッチします。

(2)「アカウントと同期」をタッチし、右上の「アカウントを追加」→「Google」を選択します。

(3)Googleアカウントをお持ちでない場合は「アカウントを取得」をタッチし、登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを作成してください。Googleアカウントをお持ちの場合は「ログイン」をタッチしてください。

●Googleアカウントを設定しない場合でも本製品を使うことができますが、Gmail、Googleトーク、Googleカレンダー、Google PlayなどのGoogleサービスを利用することができません。

●Googleアカウントを削除するには、下記の操作を行います。
「設定」→「アカウントと同期」→削除したいアカウントを選択→ナビゲーションキー「 」か画面右上の「 」をタッチ→「アカウントを削除」を選択してください。

3-12 アプリケーションの起動

本製品の「ホーム画面」や「アプリケーション画面」で起動したいアプリケーションのアイコンをタッチしてください。

3. 基本的な操作

3-13 アプリケーション画面

ホーム画面でランチャータブをタッチすると「アプリケーション画面」が表示されます。アイコンをタッチすることによって本製品の様々な機能を使うことができます。

■ホーム画面にアプリケーションのショートカットを作成する方法
1.アプリケーション画面でショートカットを作成したい「アプリケーション」のアイコンを長押しします。
2.ホーム画面が表示されますので、作成したい場所にドラッグしてください。

■ホーム画面のアプリケーションのショートカットを削除する方法
1.ホーム画面でショートカットを削除したい「アプリケーション」のアイコンを長押しします。
2.ホーム画面の上部に「×」が表示されますので、削除したいアイコンを「×」にドラッグしてください。
※ショートカットを削除してもアプリケーションはアンインストールされません

■インストール済みのアプリケーション

本製品には以下のアプリケーションがインストールされています。

アプリケーションによっては、ご使用時にインターネット接続が必要な場合があります。

アプリケーション	説明
Adobe Reader	PDFファイルを閲覧することができます。
ESファイルエクスプローラー	本体ストレージやSDカード内のファイルやフォルダの操作を行うことができます。
ESタスクマネージャー	現在実行中のタスクを確認、終了させることができます。
Flash Player	Flashを使用した動画やゲームのプレイヤーです。
Gmail	Gmailの閲覧、送受信ができます。
Google 日本語入力	日本語入力キーボードです。
GPS	GPS信号の取得状況が確認できます。
Latitude	設定すると友だちの現在地がわかります。

3. 基本的な操作

Playストア	Google Playストアに接続し、アプリのダウンロード等を行うことができます。
System Update	システムのアップデートを確認します。
カメラ	カメラを起動します。
カレンダー	カレンダーを表示し、予定を作成することができます。また、作成した予定はGoogleカレンダーと同期することができます。
ギャラリー	画像、動画を閲覧することができます。
ダウンロード	ダウンロードしたファイルを確認することができます。
トーク	Googleトーク(チャット)を利用することができます。
ナビ	Googleマップのナビを使用することができます。
ブラウザ	インターネットサイトを閲覧することができます。
プレイス	Googleマップにお店や場所に関する情報をまとめたサービスを利用することができます。
マップ	Googleマップを利用することができます。
ミクナビ	本製品のナビゲーションアプリです。 詳しくは本書【ナビゲーション機能操作編】をご覧ください。
メール	Gmail以外のメールアカウントを設定し、メールの閲覧、送受信ができます。
ライブ壁紙(初音ミク)	ライブ壁紙(初音ミク)を設定します。 詳しくは29ページをご覧ください。
ワンセグ	ワンセグを試聴できます。 詳しくは37ページ以降をご覧ください。
位置ロク	ドライブ中の映像をGPS情報とともに録画できます。詳しくは32ページをご覧ください。
音楽	音楽ファイルを聞くことができます。
音声レコーダー	音声を録音することができます。
画面ロック(初音ミク)	画面ロック(初音ミク)の設定を行うことができます。 詳しくは25ページをご覧ください。
検索	本体やウェブ検索をすることができます。また、文字入力のほか、音声検索をすることもできます。
時計	時計を表示します。 また、アラームの設定をすることができます。
渋滞状況	渋滞状況が確認できます。 Wi-Fi環境でのみ使用できます。詳しくは31ページをご覧ください。
設定	各種設定を変更することができます。
説明書	本製品の説明書をご覧いただくことができます。
着せ替え(初音ミク)	着せ替え(初音ミク)の設定を行います。 詳しくは27ページをご覧ください。
電卓	電卓を使用することができます。

3. 基本的な操作

■アプリケーションの追加

本製品にインストール済みのアプリケーションの他にも、Playストアからアプリケーションをダウンロードすることができます。
また、Playストア以外からのアプリケーションをダウンロードするためには、「設定」→「セキュリティ」→「デバイス管理」→「提供元不明のアプリ」にチェックしてください。

Playストア以外からアプリケーションをダウンロード、及びご使用になる場合は自己責任でお願いいたします。アプリケーションのダウンロード、使用により生じた直接、間接的な問題に関しては弊社では責任を負いかねます。アプリケーションの提供元の説明、条件等を十分に確認してダウンロードをお願いいたします。

Playストアやそれ以外からダウンロードしたアプリケーションのサポートについてはアプリケーションの提供元にお問い合せ下さい。

「ミクナビ」「ライブ壁紙(初音ミク)」「着せ替え(初音ミク)」「画面ロック(初音ミク)」以外のインストール済みアプリケーションのご使用方法などのサポートや、アプリケーションを使用した場合に生じた事象などについては、弊社の保証対象外となります。インストール済みアプリケーションについてのお問い合わせはアプリケーションの提供元にお問い合わせください。

■アプリケーションのアンインストール

本製品のアプリケーションをアンインストールするには以下の操作を行います。

(1)「設定」→「アプリ」を選択します。
(2)タブを選択し、アンインストールしたいアプリケーションをタッチします。そのアプリケーションの情報が表示されます。
(3)「アンインストール」をタッチします。確認画面で「OK」をタッチするとアンインストールされます。

初期状態でインストールされているアプリケーションはアンインストールできません。

■ホーム画面に「アプリのショートカット」や「ウィジェット」を作成する。

(1)ホーム画面右上の「ランチャータブ」をタッチし、「アプリケーション一覧画面」に移動します。
(2)アプリアイコンを長押しします。
(3)「ホーム画面」が表示されるのでお好みの場所に移動します。

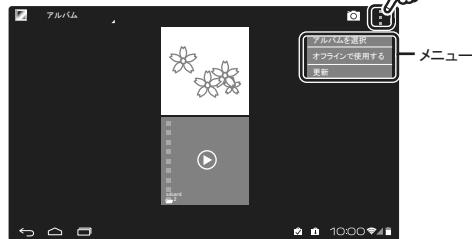
アプリケーション一覧画面でアプリアイコンを長押しし、ホーム画面上のごみ箱アイコンにドラッグするとアプリをアンインストールすることができます。

3. 基本的な操作

3-14 メニュー画面

■メニューの表示

画面の「 ⋮ 」をタッチすると、現在表示されている画面、アプリケーションのメニューが開きます。

ギャラリーの場合

ナビゲーションキーの「 ▭ 」をタッチしてもメニューを開くことができます。

アプリケーション等によってはメニューがないものもあります。

3-15 ミクナビ(カーナビ)の起動

■ミクナビの起動

ホーム画面で「 」をタッチします。

ナビゲーションが起動します。

ナビゲーションの操作については本書「ナビゲーション機能操作編」をご覧ください。

3. 基本的な操作

3-16 「画面ロック (初音ミク)」について

本アプリでは画面ロックを初音ミク仕様に変更することができます。(本製品では、すでに画面ロック(初音ミク)が設定されております)

■画面ロック(初音ミク)表示のON/OFFを行う

(1)アプリケーション一覧画面から「 」をタッチします。

(2)設定項目で、「ロッカーを有効にする」のチェックボックスをタッチします。

☑ の場合は有効(ON)になっています。

ロック画面

☐ の場合は無効(OFF)になります。

■ランチャーを設定する

「画面ロック(初音ミク)」起動時のランチャーを設定します。

ランチャーとは、ホーム画面やアプリケーション一覧画面などのデザインを変更するアプリです。
本製品のランチャーには、デフォルトの**「ランチャー」**と**「初音ミク着せ替え」**の2つのランチャーがインストールされています。**本製品ではすでに着せ替え(初音ミク)が設定されております。**

(1)アプリケーション一覧画面から「画面ロック(初音ミク)」をタッチします。

(2)「ランチャーを設定する」をタッチします。

(3)「ランチャーを選択」のウィンドウで「ランチャー」、「着せ替え(初音ミク)」のいずれかを選択します。

(4)ホーム画面に選択したランチャーが設定されます。

(5)電源のOFF→ONを行い、再起動してください。
※設定後は必ず再起動してください。

3. 基本的な操作

■画面ロック(初音ミク)の常時起動を解除する

本製品では、すでに「画面ロック(初音ミク)」が設定されておりますが、下記の手順で設定を解除することができます。

(1)本製品の「設定」から、「アプリ」→「すべて」を選択します。

(2)「画面ロック(初音ミク)」をタッチして選択します。

(3)「デフォルトの起動」の「設定を消去」をタッチします。
本製品を再起動すると、設定されている「画面ロック(初音ミク)」が解除されます。

再度画面ロック(初音ミク)を設定するには、本ページの**「■画面ロック(初音ミク)を常に起動する」**の操作を行ってください。

■画面ロック(初音ミク)を常に起動する

初期化を行ったり、起動を解除した場合には再度「画面ロック(初音ミク)」を設定する必要があります。

(1)ホームボタンをタッチすると「アプリケーションを選択」のウィンドウが表示されます。

(2)「常にこの操作で使用する」のチェックボックスをタッチして ☑ にします。

(3)「画面ロック(初音ミク)」を選択します

(4)「ランチャーを選択」のウィンドウで「ランチャー」、「着せ替え(初音ミク)」のいずれかを選択します。

すでに「着せ替え(初音ミク)」を設定したことがある場合は自動的に「着せ替え(初音ミク)」が選択されます。

(5)画面ロックに「画面ロック(初音ミク)」が設定されます。
また、ホーム画面には選択したランチャーが設定されます。

(6)電源のOFF→ONを行い、再起動してください。
※設定後は必ず再起動が必要です。

3. 基本的な操作

3-17「着せ替え(初音ミク)」について

本アプリは初音ミク仕様のランチャーです。

ランチャーとは、ホーム画面やアプリケーション一覧画面画面のデザインを変更するアプリです。
本製品のランチャーには、デフォルトの**「ランチャー」**と**「着せ替え(初音ミク)」**の2つのランチャーがインストールされています。
なお、**本製品ではすでに「着せ替え(初音ミク)」が設定されております。**

■ランチャーを設定する

【画面ロック(初音ミク)を設定している場合】

本製品に「画面ロック(初音ミク)」を設定している場合には、画面ロック(初音ミク)の設定から、デフォルトのランチャーや、着せ替え(初音ミク)を設定します。

(1)アプリケーション一覧画面から「」をタッチします。

(2)「ランチャーを設定する」をタッチします。

(3)「Choose Home Screen」のウィンドウで「ランチャー」、「着せ替え(初音ミク)」いずれかを選択します。

(4)ホーム画面には選択したランチャーが設定されます。

(5)電源のOFF→ONを行い、再起動してください。
※設定後は必ず再起動が必要です。

3. 基本的な操作

■ランチャーを設定する

【画面ロック(初音ミク)を設定していない場合】

本製品では、すでに画面ロック(初音ミク)と着せ替え(初音ミク)が設定されておりますが、初期化を行ったり、起動を解除した場合には再度設定する必要があります。

(1)ホームボタンをタッチすると「アプリケーションを選択」のウィンドウが表示されます。

(2)「常にこの操作で使用する」のチェックボックスをタッチして ☑ にします。

(3)「ランチャーを選択」のウィンドウで「ランチャー」、「着せ替え(初音ミク)」いずれかを選択します。

すでに「着せ替え(初音ミク)」を設定したことがある場合は自動的に「着せ替え(初音ミク)」が選択されます。

(4)ホーム画面には選択したランチャーが設定されます。

(5)電源のOFF→ONを行い、再起動してください。
※設定後は必ず再起動してください。

ホーム画面に設定したランチャーを解除するには、本製品の「設定」から、「アプリ」→「すべて」を選択し、「ランチャー」、「着せ替え(初音ミク)」いずれかの「デフォルトの起動」の「設定を消去」をタッチします。

初期化を行ったり、起動を解除した後に、再度「画面ロック(初音ミク)」と「着せ替え(初音ミク)」の両方を設定する場合は、26ページ、「画面ロック(初音ミク)について」の「■画面ロック(初音ミク)を常に起動する」をご覧ください。

3. 基本的な操作

3-18「ライブ壁紙 (初音ミク)」について

本アプリでは初音ミクのライブ壁紙を設定することができます。

●**本製品では、すでに「ライブ壁紙(初音ミク)」が設定されております**が、初期化を行ったり、起動を解除した場合には再度設定する必要があります。
「ライブ壁紙(初音ミク)」を再度設定した場合、壁紙は1枚目からの表示になります。

●ライブ壁紙(初音ミク)は**初期状態では25枚のイラスト**が収録されています。**毎日0時に新しいイラストが壁紙として表示されていきます。25枚目のイラストが表示された次の日には1枚目のイラストが壁紙として表示されます。**
自動で新しいイラストが壁紙として表示されるため、イラストを指定して壁紙に設定することはできません。あらかじめご了承ください。

●ライブ壁紙(初音ミク)は**新しいイラストをダウンロードして追加(更新)することができます。**初期状態で表示されているイラストと合わせて最終的に**合計50枚**のイラストを壁紙としてご覧になることができます。

ライブ壁紙の更新予定日、追加枚数
2013年5月31日……5枚　6月30日……5枚
7月31日……5枚　8月31日……10枚

●**ライブ壁紙の追加イラストをダウンロードするにはインターネットに接続する必要があります。**更新方法については**30ページ**をご覧ください。

3. 基本的な操作

■ライブ壁紙(初音ミク)の設定画面

アプリケーション一覧画面で「 」をタッチすると下図の様なライブ壁紙の設定画面が表示されます。

タッチすると新しい壁紙をダウンロードできます。
新しい壁紙は本画面下部のリストに表示されます。

現在の壁紙のリストです。
タッチすると画像を確認できます。
壁紙を指定してライブ壁紙に設定することはできません。
あらかじめご了承ください。

「ライブ壁紙(初音ミク)」を本製品の壁紙に設定することができます。

ライブ壁紙は毎月末(2013年5月末〜同年8月末まで)に新しいイラストをダウンロードして追加することができます。初期状態で収録されているイラストと合わせて最終的に**合計50枚**のイラストを壁紙としてご覧になることができます。ダウンロードするにはインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法は**34ページ**からの**「4.インターネット接続」**をご覧ください。

3. 基本的な操作

3-19 「渋滞状況」について

本製品では「渋滞状況」アプリを使用することにより、現在の渋滞状況を確認することができます。

❶本アプリはインターネット接続時に使用できます。ご利用になる際にはWi-Fi接続を行ってください。オフライン(インターネット未接続)時には使用できません。あらかじめご了承ください。

■アプリの起動

ホーム画面で「 渋滞状況 」をタッチすると、「渋滞状況」アプリが起動します。

■アプリの操作

地図の移動　画面をドラッグ(指を置いて上下左右に移動)することにより地図が移動します。

拡大/縮小　画面をピンチ(画面を2本の指で触れ、指の間隔を広げたり狭める)することにより地図が拡大/縮小します。
画面右下の「+/−」をタッチすることでも拡大/縮小できます。

更新　タッチすると最新の情報に更新されます。

画面下の「 ⋮ 」をタッチすると、メニューが開きます。

■メニューについて

地域選択	高速道路	選択した地域の高速道路の渋滞状況を表示します。
	一般道	選択した地域の一般道の渋滞状況を表示します。
	ブックマーク	ブックマークに追加した道路の渋滞状況を表示します。
その他	ブックマークに追加	表示されている道路の渋滞状況をブックマークに追加します。
	「渋滞状況」の見方	「渋滞状況」の見方を説明します。
	このアプリについて	このアプリについての説明です。
	終了	「渋滞状況」アプリを終了します。

3. 基本的な操作

3-20 「位置ロク」について

本アプリではドライブ中の映像、音声を、GPS情報と共にビデオ録画することができます。
※端末がGPS情報を取得していない場合は、GPS情報は表示されません。

❶本アプリで録画中に他のアプリを起動したりホーム画面に戻った場合、録画が停止されますので、あらかじめご了承ください。

■アプリの起動

ホーム画面で「 」をタッチすると、「位置ロク」アプリが起動します。

■録画モード

「録画開始」をタッチすると録画が開始されます。
GPSを探知している場合は、GPS情報が映像と共に保存されます。
「録画停止」をタッチすると、録画は終了します。
録画中にホーム画面へ戻ると録画は終了します。

■再生モード

「再生モードへ」をタッチすると「再生モード」へと移動し、保存されているビデオ映像の一覧が表示されます。
ファイルをタッチするとビデオが表示されます。
削除する場合は、ファイル名を長押しして削除を行ってください。

■メニュー

画面下の「 ⋮ 」をタッチすると、メニューが開きます。
各種設定を行うことができます。

設定	画質	高画質/低画質から選択します。
情報	アプリの情報を表示します。	
アプリを終了	アプリを終了します。	

3. 基本的な操作

3-21 FM トランスミッターについて

■FMトランスミッターについて

FM周波数を利用し、本製品の音声をカーオーディオ等のFMラジオで聴くことができます。

■設定

(1)「設定」→「無線とネットワーク」→「その他...」→「FMトランスミッター設定」を選択します。

(2)「FMトランスミッター」をタッチし、□に✔を入れます。

❶FMトランスミッターを使用中は本製品のスピーカーから音声は出力されません。
FMトランスミッターの設定をOFFにすると、本製品のスピーカーから音声が出力されます。

(3)「FMトランスミッター周波数設定」をタッチします。「−」「+」あるいは「周波数バー」に直接タッチし、送信周波数を任意に設定し、「セーブ」をタッチします。
(ご利用地域のFMラジオ放送局の周波数に重ならないようご注意ください)

お車のFMラジオ周波数をここで設定したFM周波数に合わせて使用します。

「FMトランスミッター」が起動していると、ステータスバーに下記のアイコンが表示されます。

4. インターネット接続

4-1 接続環境について

本製品はWi-Fiネットワークを通じてインターネットに接続します。

■接続環境

インターネットに接続するにはワイヤレスLANのルーターかアクセスポイントが必要です。
ルーターはWi-Fi802　11　b/g/nに対応している必要があります。
また、ネットワーク名(SSID)とパスワード等のセキュリティ情報をご用意してください。

- ●詳細はルーターの取扱説明書をご覧になるか、ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- ●Wi-Fiネットワークには「オープン」または「ホットスポット」のものがあります。このタイプの場合、詳しい設定をせずに接続でき、自動的にルーターから必要な情報を取得します。

4-2 Wi-Fi ネットワークとの接続

(1)「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi」を選択し「OFF/ON」をタッチして「ON」にします。

(2)接続可能なWi-Fiネットワークが表示されます。
接続したいネットワークをタッチして、必要に応じて、パスワード(セキュリティキー)を入力して接続します。

接続するWi-Fiネットワークが表示されないときは右上の「ネットワークを追加」をタッチし、ネットワークSSID、セキュリティ等を入力すると接続できます。

Wi-Fiネットワークに接続すると、ステータスバーに

が青色で表示されます。

接続が不安定な場合は がグレーで表示されます。

4. インターネット接続

4-3 ブラウジング

ブラウザのアプリケーションからウェブサイトにアクセスし、閲覧することができます。「ホーム画面」→「ランチャータブ」→「ブラウザ」アイコンをタッチすると、ブラウザが起動します。

■ブラウジング

上図のアドレスバーにURLや検索語句を入力します。

また、アドレスバー横の ★ をタッチすると「ブックマーク」や「履歴」、「保存したページ」からウェブサイトにアクセスすることができます。

■ページのスクロール

上下方向に画面をスワイプ(画面をドラッグしてスライドさせること)すると上下方向にスクロールします。左右方向に画面をスワイプすると左右方向にスクロールします。

■ホームページの設定

ホームページとは、ブラウザが立ちあがる際に、表示されるウェブサイトのことです。スタートページともいいます。

(1)ホームページに設定したいウェブサイトを開きます。

(2)画面右上のメニュー「 ⋮ 」をタッチ→「設定」→「全般」→「ホームページ設定」を選択します。

(3)「現在のページ」をタッチすると表示されているページがホームページになります。

4. インターネット接続

■ブックマークの仕方

ブックマークとは本のしおりの意味です。お気に入りのウェブサイトをブラウザに登録することにより、URLを入力しないでウェブサイトを表示することができます。

(1)ブックマークしたいウェブサイトを開きます。

(2) ★ をタッチし、「追加先」→「ブックマーク」を選択します。

(3)「名前」、「場所」は変更することもできます。確認したら、「OK」をタッチして登録します。

■新しいタブの開き方

タブとは帳簿などのつまみの意味です。複数のウェブページをタブを使用して切り替え、1つのウィンドウで複数のウェブページを見ることができます。
直接タブの「+」をタッチすることで新しいタブを開くことができます。

■タブの閉じ方

直接タブの「×」をタッチすることでタブを閉じることができます。

5. ワンセグ

5-1 ワンセグ放送について

❶本製品上部のアンテナを引き伸ばしてご使用ください。

ワンセグは主に携帯端末を受信対象とする地上デジタルテレビ放送サービスです。画像が粗く、映像がなめらかでない場合がありますが故障ではありません。

- 放送エリア以外では視聴できません(社団法人デジタル放送推進協会のWEBサイト等をご参照ください)。
- 地形や構造物(建物内や地下)といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できない場合があります。

5-2 基本画面

ホーム画面で「 ワンセグ 」をタッチすると、「ワンセグ」が起動します。

①	チャンネルスキャン	チャンネル情報をスキャンします。
②	写真保存	ワンセグ画面を写真データで保存します。
③	番組録画	ワンセグを録画します。
④	明るさ(−)	画面を暗くします。消費電力を抑えることができます。
⑤	明るさ(+)	画面を明るくします。
⑥	消音	音声を消音にします。
⑦	音量バー	バーを左方向に動かすと音声が小さくなります。 右方向に動かすと音声が大きくなります。
⑧	受信レベル	ワンセグの受信レベルを表示します。 表示なし 弱 → 強
⑨	閉じる	ワンセグを終了します。
⑩	地域設定	地域を選択します。
⑪	チャンネルリスト	チャンネルリストを表示します。

5. ワンセグ

5-3 チャンネルスキャン

視聴できるチャンネルをスキャンします。

ワンセグ放送のチャンネルを受信するには以下のいずれかの設定操作が必要となります。
①地域設定：ご使用の地域のチャンネルデータを設定します。
②チャンネルスキャン：ご使用の地域の電波をスキャンします。

- ●放送エリア外や電波の弱い場所、地下街・ビルなどの建物内ではチャンネルスキャンが正常に完了できない（放送が受信できない）場合があります。
- ●チャンネルスキャンは完了までに時間がかかる場合があります。

◆『地域設定』エリアプリセットデータ
受信エリアのプリセットデータを使用することにより地域設定を行います。5-2基本画面の⑩「地域設定」から地域を選択し、「はい」をタッチすると、選択したエリアデータで番組を受信します。（例：東京の場合は「東京」をタッチします。）

5-4 写真の保存

受信中の番組を写真データにして保存することができます。

写真データ記録すると、内部ストレージ内、SD カード内いずれかに「**isdbt**」フォルダが生成され、自動的にフォルダ内に保存されます。

番組の受信中に、5-2基本画面②の「写真保存」をタッチします。
タッチした時点での画面が写真データ（jpg形式）として保存されます。

保存したデータは本製品の「ギャラリー」等でご覧いただけます。

画面写真データの削除もギャラリー等から行えます。

5. ワンセグ

5-5 番組の録画

受信中の番組を録画して保存することができます。

録画すると、内部ストレージ内、SD カード内いずれかに「isdbt」フォルダが生成され、自動的にフォルダ内に保存されます。

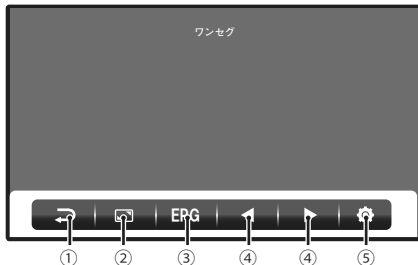
●マイクロSDカードに録画した場合、2GBの空のマイクロSDカードで約12時間分の録画が可能です)。

番組の受信中に、TV受信画面にて5-2基本画面③の「番組録画」をタッチします。録画が開始されると下図のように画面上部に録画時間が表示されます。

録画時間

録画を停止する時は再度「番組録画」をタッチします。
保存したデータは本製品の「ギャラリー」等でご覧いただけます。また、録画データの削除も「ギャラリー」等から行えます。

5-6 全画面表示

5-2「基本画面」のディスプレイをタッチすると「全画面表示」になります。もう一度画面をタッチするか、しばらく経つと、メニューが消えます。

①	戻る	「基本画面」に戻ります。
②	画面サイズ	画面サイズを変更します。
③	EPG	EPG(電子番組表)を表示します。
④	チャンネル	受信チャンネルを切り替えます。
⑤	設定	設定画面を表示します。

5. ワンセグ

5-7 チャンネルの選択

5-2「基本画面」⑪の「チャンネルリスト」から表示したいチャンネルをタッチするとチャンネルが選択できます。または、5-6「全画面表示」④の「チャンネル」をタッチして受信チャンネルを切り替えます。

5-8 EPG の表示

5-6「全画面表示」③の「EPG」をタッチすると現在表示しているチャンネルのEPG(電子番組表)が表示されます。

電子番組表の情報の取得には時間がかかる場合があります。

5-9 設定画面

ワンセグテレビの各種設定を行います。

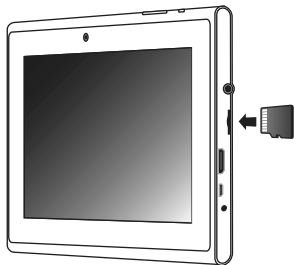
二重音声	「二重音声」を設定します。 「主音声」「副音声」「主+副」から設定します。
字幕	字幕の表示を設定します。 「ON」「OFF」から設定します。
保存先	画像、動画の保存先を設定します。 「内部ストレージ」「SDカード」から選択します。

6. 外部機器との接続

6-1 microSD カードの使用

本製品にはmicroSDカードスロットがあります。本製品の外部メモリとして使用したり、ほかの製品で作成したファイルを本製品で閲覧することができます。

■セット

下図のようにmicroSDカード(別売り)の印字面を背面側にし、SDカードスロットへセットします。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

●microSDカード以外の物は挿入しないでください。
●カードの向きに注意して挿入してください。
●カードの金属端子部分には触れないでください。

■取外し

以下の手順で取外しを行ってください。

(1)「設定」アイコンをタッチします。

(2)「ストレージ」をタッチします。

(3)「SDカードのマウントを解除」をタッチします。

(4)ウィンドウが表示されたら「OK」をタッチします。

(5)セットしてあるmicroSDカードを奥に押しこみます。カチッと音がしてカードを取り出すことができます。

6. 外部機器との接続

6-2 イヤホンの接続

本製品のイヤホン端子と付属のイヤホンを接続します。接続すると、音声は内蔵スピーカーが切れ、イヤホンから音声が出力されます。

イヤホンを使用される場合は耳を強く刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

6-3 HDMI 端子での接続

HDMIケーブル(別売り、HDMI⇔miniHDMI(typeC))を使用して、TV等に本製品の画面を表示することができます。

■画質の設定

(1)「設定」をタッチします。

(2)「ディスプレイ」→「OUTPUT SETTING」→「Output type」から「HDMI」を選択します。

(3)「HDMI SETTING」から「Resolution」をお使いのTV等に合わせて選択してください。
(通常は「Auto Detect」を選択します。)

■接続の仕方

(1)本製品側面のミニHDMI端子にHDMIケーブル(別売り、HDMI⇔miniHDMI(typeC))を接続します。

(2)HDMIケーブルのもう一方をTV等のHDMI端子に接続します。

(3)TV等の電源を入れ、HDMI入力を選択します。
本製品の映像がTV等に出力されます。

TV等の画面の設定方法はTV等の説明書をご覧ください。

6. 外部機器との接続

6-4 USB 端子での接続

付属のUSBケーブルでパソコンと接続することにより、本製品とデータのやりとりができるようになります。

■接続の仕方

(1)本製品側面のUSB端子にUSBケーブル(付属)の小さい方のプラグを接続します。

(2)USBケーブルの大きい方をパソコンのUSB端子に接続します。

(3)「USBマスストレージ」画面が表示されます。「USBストレージをONにする」をタッチし、ウィンドウが表示されたら「OK」をタッチします。

(4)ステータスバーに が表示されます。

これで本製品のメモリーとパソコンの間でデータのやり取りができるようになります。

●メモリーカードをマウントしている場合にはメモリーカードとパソコンの間でもデータのやり取りができるようになります。

●パソコン側では本製品はリムーバブルディスクとして認識されます。製品をパソコンの間のファイルのやりとりの仕方はパソコンの説明書をご覧ください。

●本製品メモリ内の「mikunavi」フォルダー mikunavi を削除するとナビアプリケーションが起動しなくなりますので、削除しないようご注意ください。

■接続解除の仕方

(1)パソコンで本製品(リムーバブルディスク)の安全な取外しを行ってください。

●安全な取外しの方法はパソコンの説明書をご覧ください。

(2)ステータスバーの をタッチして「USBマスストレージ」画面を表示します。

(3) 「USBストレージをOFFにする」をタッチし、ウィンドウが表示されたら「OK」をタッチします。

7. 本製品の設定

7 本製品の設定

「設定」アイコンをタッチすると本製品の設定項目を変更できます。

■設定項目

無線とネットワーク	Wi-Fi	接続可能な接続先一覧を表示します。 また、Wi-Fiのオン/オフを選択できます。 MACアドレス、IPアドレスの情報は画面右上の「 ⋮ 」をタッチして「詳細設定」から確認できます。	
	Ethernet Settings	本製品では使用いたしません。	
	データ使用	本製品では使用いたしません。	
	その他…	その他のネットワーク設定を行います。	
		機内モード	本製品の通信機能(Wi-Fiネットワーク)をオン/オフにします。
		VPN	本製品では使用いたしません。
		FMトランスミッター設定	FMトランスミッターの設定を行います。 詳しくは33ページをご覧ください。

7. 本製品の設定

端末	音	タッチ音の変更と音量、バイブ機能の設定を行います。	
		音量	メディアとアラームの音量を調整します。
		着信音と通知音	メール等の通知音を設定します。
		システム	システム音声のオン/オフ、バイブ機能のオン/オフを行います。
	ディスプレイ	ディスプレイの明るさや壁紙を設定します。	
		Output setting	HDMIの出力設定を行います。 詳しくは42ページをご覧ください。
		画面の明るさ	画面の明るさの設定を行います。
		画面の自動回転	縦置き、横置きに対応し、画面が回転する機能のオン/オフを行います。
		Gセンサースタイル	加速度センサーの方式を選択します。
		スリープ	無操作時に液晶をオフにする機能です。 無操作15秒～30分の間で設定できます。
		フォントサイズ	画面上の文字の大きさを設定します。

7. 本製品の設定

<table>
<tr><td rowspan="3">端末</td><td>ストレージ</td><td colspan="2">データの使用量と空き容量を表示します。
また、SDカードのマウント/マウントの解除を行うことができます。</td></tr>
<tr><td>電池</td><td colspan="2">電池残量についての情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>アプリ</td><td colspan="2">アプリ情報の表示を表示します。
また、アプリの強制停止、アンインストール等の操作を行うことができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ユーザー設定</td><td>アカウントと
同期</td><td colspan="2">オンラインサービスのアカウント管理や同期の設定、アカウントの
追加などを行います。</td></tr>
<tr><td>位置情報
サービス</td><td colspan="2">位置情報サービスやGPS機能の使用有無の設定を行います。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">セキュリティ</td><td colspan="2">画面ロックやパスワードの設定を行います。</td></tr>
<tr><td>画面のセキュリティ</td><td>画面のロックの方法を選択します。
初期設定では「なし」に設定されています。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>画面のセキュリティで「パスワード」を設定した際にパスワードの画面表示の有無を設定します。</td></tr>
</table>

7. 本製品の設定

ユーザー設定	セキュリティ	デバイス管理	端末管理者…使用しません。 提供元不明のアプリ….Playストア以外からアプリケーションをダウンロード、及び使用することができます。 使用に関しては23ページをご覧ください。
		認証情報ストレージ	信頼できる認証情報…信頼できるCA証明書を表示します。 ストレージからのインストール….ストレージから証明書をインストールします。 証明ストレージの消去……証明書を削除します。
	言語と入力	言語と入力の設定を行います。	
		言語	本製品の使用言語の選択を行います。
		スペルチェッカー	Gmailなど、英語などで入力した際にスペルのチェックを行います。スペルがチェックされた単語には赤い線がひかれます。
		ユーザー辞書	ユーザー辞書への登録を行います。 英語(米国)Androidキーボードの時に有効です。

7. 本製品の設定

ユーザー設定	言語と入力	キーボードと入力方法	キーボードと入力方法を選択します。 デフォルトに設定されているのが現在のキーボードです。
		音声	音声検索…音声検索の設定を行います。 テキスト読み上げの出力…テキスト読み上げの設定を行います。
		マウス/トラックパッド	本製品では使用しません。
	バックアップとリセット	データのバックアップと初期化を行います。	
		バックアップと復元	データのバックアップと自動復元の設定を行います。
		個人データ	データの初期化を行います。
システム	日付と時刻	日付と時刻等の設定を行います。	
		日付と時刻の自動設定	ネットワークから提供された時刻を使用するかどうか設定します。
		日付設定 時刻設定	ネットワークから提供された時刻を使用するしない場合に設定します。

7. 本製品の設定

システム	日付と時刻	タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
		24時間表示	本製品の時刻を24時間表示(例:13:00)で表示するか設定します。
		日付形式	日付形式を選択します。
	ユーザー補助	ユーザー補助の設定を行います。	
		サービス	ネットワークから提供された時刻を使用するかどうか設定します。
		システム	ユーザー補助の設定を行います。
	開発者向けオプション	アプリ開発者向けの設定変更を行います。	
	端末情報	本体の情報を表示します。	

8. 製品の仕様

製品型番	RM-AT700MK
RAM	512MB
ROM	8GB (うち5.3GBをマップデータに使用)
外部記憶	microSDカード(32GBまで対応)
無線LAN	802.11 b/g/n
OS	Android 4.0
インターフェース	ミニHDMI端子(typeC、出力1080P)、 3.5mmイヤホンジャック、 microUSB端子(typeB)、 microSDカードスロット
ディスプレイ	7インチ タッチスクリーン デジタルTFT液晶
液晶	解像度：800pix × 480pix
タッチ方式	静電式
自動方向センサー	○
ワンセグ	○
加速度センサー	○
グラフィック アクセラレーター	○（3Dアクセラレーター）
音声入出力	入力：内蔵マイク 出力：内蔵スピーカー、イヤホン
カメラ	フロントカメラ（30万画素）
	背面カメラ（200万画素）
FMトランスミッター	○

使用時間	最大約4.5時間 (ナビゲーションを内蔵充電池にて使用した場合)
充電時間	約3時間 (ACアダプター充電)
電源、バッテリー	ACアダプター、シガーソケット、 リチウムポリマー充電池　3000mAh
外形寸法 (幅x高さx奥行き)	187mm × 124mm × 9.5mm
重量	330g
付属品	吸着式スタンド/ホールド用台座/スタンドカップ/シガー(DC)ケーブル/ACアダプター/USBケーブル/イヤホン/クイックガイド(保証書付)

※製品の仕様やデザイン等は品質向上のため予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※充電時間、ナビ連続使用時間はあくまで目安となります。環境や画面の明るさ設定･音量設定などによって変動します。

※外部記憶のmicroSDカードは別売りです。

取扱説明書 【ナビゲーション機能操作編】

取扱説明書

・お買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
・ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分内容をご理解した上で、取付や操作を行ってください。

・特に、安全上のご注意事項は必ずお読みください。

目次

1．はじめに

（1）地点検索

・検索履歴：一度検索した地点は500件まで自動的に保存され、ルートを設定することができます。
・名称検索：名称を直接入力して検索できます。（約200万件）
・電話番号検索：全国の法人と公的機関番号（ハローページ）約814万件により検索できます。
・住所検索：都道府県→ 市区町村→丁目→番地（～枝番）・戸番（～号）などから検索できます。（約3,500万件）
・ジャンル別検索：公共・観光等の施設ジャンルから検索できます。（約200万件）
・駅名検索：鉄道の駅名から検索できます。
・周辺検索：現在地の周辺施設（GS、銀行、コンビニなど）を検索できます。
・緯度、経度検索：緯度、経度を直接入力して検索できます。
・登録地点検索：登録地点は最大500件まで登録して利用することができます。
・POI結果付加情報表示：検索結果画面で電話番号と住所を表示します。
・データ編集作業により一部の検索データは重複する場合があります。

（2）各種ルート計算

・おすすめ、高速優先、一般優先（300㎞以内のみ）、距離優先（100㎞以内のみ）の4パターンのルート計算が選択可能です。
・全国の細街路までルート案内ができます。
・ルートの色を区分して表示します。（ルートの色は基本的にオレンジ色、有料区間だけ水色で表示します。）
・経由地を設定することができます。（5ヶ所）

（3）ルート走行

・車の進行方向に合わせた地図表示(ヘディングアップ）と常時北を上とする表示(ノースアップ）と3Dビューの選択ができます。

(4）便利なその他の機能

・オートリルート機能：ルートを外れた場合、自動的にルートを再計算します。

1. 本ナビゲーションはGPSを利用したナビゲーションです。
GPS測位ができない場所ではルート案内のご利用はできません。
2. 目的地までの距離、所要時間、到着予定時間は目安としてご利用ください。
3. 交差点・右左折の地点までの距離はGPS誤差により誤差が生じる場合があります。
4. 地図は定期的に更新しておりますが、新しい道路に対応していない場合もあります。
5. 隣接して平行な道路がある場合に、GPS誤差により隣の道路を誘導する場合があります。
6. レーン（車線）情報は実際の道路標識とは異なる場合があります。
7. 同じ車両に本機を含め複数のカーナビゲーション機器を設置しないでください。
本機および他のカーナビゲーション機器の誤作動の原因になります。
8. 経由地は5箇所まで設定できますが、設定する時はなるべく広い道路上に設定してください。
9. 細街路は案内いたしますが、実際の道路状況や交通規制を優先して走行してください。
10. ルート案内には、曜日、時間、大型車の通行などの規制は考慮されません。
11. 走行軌跡は電源を切ると消え、記録されません。
12. 離島などで道路にて通行できない場合は、ルート案内ができません。一部のルートについてはフェリーを利用するルートを案内しますが、
フェリーによるルート案内ができない場合もございますので十分ご注意ください。
13. 緊急を要する施設（病院、警察、消防など）の検索や案内は、本製品だけに頼らず該当施設へご確認ください。
14. 本製品では地図表示用データとルート探索用データをそれぞれ持っていますので画面上に表示される道路と実際にルート探索に
利用する道路は一致していない場合があります。ルート探索データのない道路上に出発地・経由地・目的地を設定した場合は、
そこから直線距離で一番近い探索データがある地点をルート探索の実際の設定地点になります。
15. 本製品はスマートIC情報が収録されていますのでスマートICを利用するルートを案内する場合があります。
スマートICはETC専用ICです。ETC車載器を搭載していない車両はご通行できません。必ずETCカードを車載器に挿入してご通行ください。
また、利用できる時間帯や車種などに制約がございますので、ご理解の上ご利用ください。
設定から「スマートIC利用」を「しない」に設定した場合でも走行中の道路状況によりスマートICを通じてルート案内する場合があります。

GPS測位について

次の条件によってはGPS測位ができなかったり、誤差が生じることがあります。

・強力な電波発生源が近くにある場合（携帯電話の中継局、携帯電話抑制装置のある建物など）
・森林の中、周囲が高い建物、高速道路下、ガード下、トンネル、建物内駐車場など上空をさえぎるものがある場合
・雪、雨、曇天などの悪天候による場合
・衛星配置条件により受信可能な衛星数が少ない時間帯
・GPS衛星からの電波が建物などで反射して誤差が生じる場合

本製品はGPS情報だけを取得してルート案内を行いますので誤差が大きい場合は正常なルート案内ができない時がありますので製品での案内を参考にしながら実際の交通規制を優先して走行してください。

お買上げ後初めてご使用になる時、または長期間本機を使用しなかった場合、電源を入れた後、GPS測位が可能となるまでに長時間かかる場合、またGPS測位可能となってからも、しばらく誤差が大きい場合があります。

安全上のご注意（1）

安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください）

本取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、
重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。
■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で説明しています。

⚠ **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

「してはいけない内容」を示しています。

「しなければならない内容」を示しています。

⚠ 警告

運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

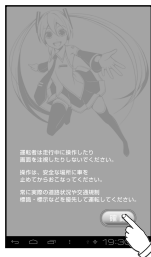
運転や視界を妨げる場所で使用しないでください。
運転に支障が生じ、ケガをしたり交通事故を招いたりするおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本商品に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

- **ホーム画面から「ミクナビ」を起動する方法を説明します。**

・ホーム画面から「ミクナビ」をタッチします。

・ご使用前には必ず警告内容をお読みください。
その後、「確認」ボタンをタッチします。

・ミクナビが起動され、
地図が表示されます。

ミクナビを終了する

▪ **ミクナビを終了する方法を説明します。**

・左下側の「戻る」ボタンを押します。

・「はい」を選択します。

・ミクナビが終了され、
ホーム画面に戻ります。

2. 基本的な使い方

※モード表示

現在のモード状態を表示します。(徒歩・運転)

※GPS電波を受信しにくい時の現在地の表示は、最後に本機の位置を確認できた場所になります。これは、GPS電波を受信していても本機の位置が認識できないときも同じです。
また、起動時に本機の位置が確認できなかった時は、現在地は電源を切る前の最後の位置を認識した場所に設定されます。
GPS信号を正しく受信していない場合は地図が正しく表示されません。

1. 方位/地図方向アイコン

地図の方位と地図方向設定を表します。地図方向設定を変更するためには、方位アイコンをタッチするか、「案内設定」→「地図方向」で設定を変更します。

走行方向

本機の走行方向が常に上を向くよう地図が回転します。

北上固定（地図の上が北）

地図の上が常に北になり、走行時は自車位置表示の方向が変化します。

簡易3D

簡易3D画面で前方の画面を広く表示します。

2. GPS電波受信状態表示

GPS電波の受信状況を表示します。衛星の受信数などの詳細は、「GPS情報」のページで詳細表示します。

3. 縮尺表示

地図の縮尺を表示します。「-/+」で縮尺を変更できます。

4. メニュー

メニューリストを表示します。

5. 自車位置表示

自車の位置を地図上に表示します。

(グレー)：GPS電波を受信していない時、GPS電波を受信するまで動きません。

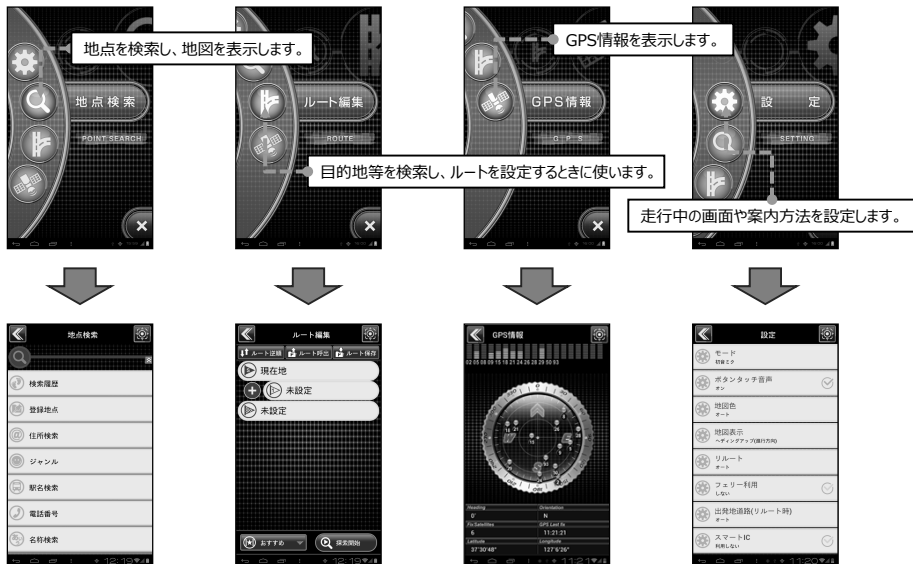
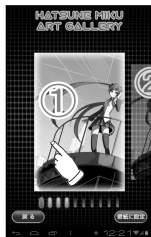
(赤)　：GPS電波を受信している時、車の向きが進行方向を表示します。

6. モード切換

タッチすると、「運転モード」と「徒歩モード」を切り換えることができます。

7. 初音ミクアートギャラリー

約20㎞走行ごとに初音ミクの書き下ろし画像を取得することができます。
「HATSUNE MIKU ART GALLERY」をタッチして、次の画面から取得した画像を確認することができます。

地点を検索し、地図を表示します。
地点検索
POINT SEARCH
ルート編集
ROUTE
目的地等を検索し、ルートを設定するときに使います。
GPS情報を表示します。
GPS情報
G P S
設 定
SETTING
走行中の画面や案内方法を設定します。
地点検索
検索履歴
登録地点
住所検索
ジャンル
駅名検索
電話番号
名称検索
ルート編集
ルート逆順
ルート呼出
ルート保存
現在地
未設定
未設定
おすすめ
探索開始
GPS情報
設定
モード
初音ミク
ボタンタッチ音声
オン
地図色
オート
地図表示
ヘディングアップ(進行方向)
リルート
オート
フェリー利用
しない
出発地道路(リルート時)
オート
スマートIC
利用しない

※画像取得イベント（初音ミクアートギャラリー）
約20㎞走行ごとに初音ミクの書き下ろし画像を取得することができます。
地図画面から〔HATSUNE MIKU ART GALLERY〕をタッチすると、取得した画像を確認することができます。

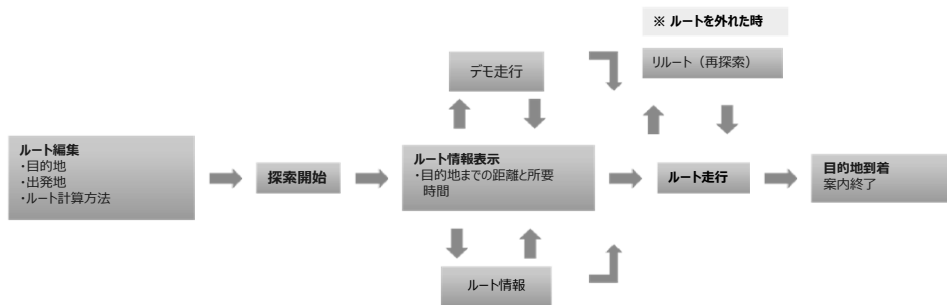
・初音ミクアートギャラリー画面では取得画像の閲覧や端末本体の壁紙に設定することができます。
・初音ミクアートギャラリー画面から〔壁紙に設定〕ボタンをタッチすると、選択した画像を壁紙に設定します。
・サムネール画像をタッチすると拡大表示され、拡大表示された画像をタッチするとサムネール画面に戻ります。
・画像の取得をコンプリートすると、初音ミクアートギャラリー画面に「メッセージ」ボタンが表示されます。タッチするとコンプリートメッセージを発話します。

画像取得イベント（初音ミクアートギャラリー）で取得できる画像は本製品のため下記のイラストレーターにお描きいただきました。

・**bob**
・**KEI**
・**PALOW NAKAMURA**
・**おぐち**
・**もぐも**
・**りょーの**
・**鳥越タクミ**
（画像取得順、敬称略）

※画面は実際のものとは異なる場合があります。

ルート設定～ルート走行の流れ

・目的地までのルートを探索し、ルート走行をするには、以下の手順で操作します。

ルート編集画面を呼び出す

ルート走行をするには、さまざまな方法で目的地と出発地、計算方法を設定してルートを探索し、案内を始めます。
ここでは、住所から目的地を設定し、ルートを探索して案内する方法を表示します。

・現在地画面から〔メニュー〕アイコンを押し、メニュー画面を 開きます。

・メニュー画面から〔ルート編集〕をタッチすると、ルート編集画面が表示されます。

例）住所を検索してルート走行を行う。

・ルート編集画面の〔目的地〕をタッチします。
例）東京都港区芝公園4丁目2-8

・目的地の検索方法が表示されます。
〔住所検索〕をタッチします。

・目的地の都道府県を選びます。

・〔東京都〕を選択します。
①右側のインデックスから（た）をタッチして「た」行に移動させます。
②その後、「東京都」をタッチします。

※地名は50音順に分類されています。

・〔港区〕を選択します。
①右側のインデックスから（ま）をタッチして「ま」行に移動させます。
②その後、「港区」をタッチします。

※右側のインデックスバーはスクロール機能です。選択すると付近のインデックスに移動することができます。（他の画面でも共通）

目的地を設定する（2）

・**町名を選びます。**
「芝公園」をタッチします。
①右側のインデックスから（さ）をタッチして「さ」行に移動させます。
②その後、「芝公園」をタッチします。

・**4丁目を選びます**

・**番地をタッチします。**

・**「2」をタッチします。**

目的地を設定する（3）

・「号」が表示されます。

・リストから「8」をタッチします。

・タッチした地点周辺の地図が表示されます。
・表示された地点と目的地が離れている時は、
　画面をスクロールさせ、目的地を探索します。

・目的地が確定されたら、画面の〔目的地〕を
　タッチします。
※この地点を登録したい時は、〔地点登録〕
　をタッチします。

・「探索開始」を押すと、ルート探索が始まります。

※目的地は設定した地点が保存されますが、出荷時は「未設定」の状態です。

※設定を変えたり、経由地などを追加したい場合は該当するメニューをタッチしてください。

ルート計算には4つの方法が用意されています。
状況に応じて最適な方法を選んでください。

「おすすめ」

幅の広い幹線道路を優先して探索します。
目的地までの距離が他の方法よりも遠回りする場合もあります。

「高速優先」

高速道路をなるべく使ったルートを探索します。
距離が短い場合や目的方向に高速道路のICがない場合など、条件によっては高速道路などを使用しない場合があります。

「一般優先」

高速道路をなるべく使わないルートを探索します。
目的地までの直線距離がおよそ300km以内の時だけ使えます。

「距離優先」

なるべく距離が短いルートを探索します。（必ず最短距離になるとは限りません。
目的地までの直線距離がおよそ100km以内の時だけ使えます。）

・「探索開始」を押すと、ルート探索が始まります。

※目的地と出発地の距離が長い場合は、一般道モード（300km以下）、距離優先モード（100km以下）を選択しても、おすすめモードに切り換ってルートを探索します。この場合は高速道路などもルートに含まれることがあります。
※長距離でのルート計算は計算時間が長くなる場合があります。
※設定した地点の周辺道路条件によりルート結果が変わらない場合もあります。
※ルートは設定地点の一番近い道路から始まりますのでなるべく利用したい道路上に目的地を設定してください。

ルート計算の注意点

次の様な場合はルート計算ができない場合があります。

・出発地と目的地が近すぎる場合
この場合は地点を再設定してください。

・出発地、あるいは目的地の近くにルート探索データがない場合
地点をなるべく幅の広い道路上に移動してから設定をすると計算できます。

・ルート計算時間が長すぎる場合
ルート計算条件を変更して探索してください。（例：フェリーを利用しない条件に設定するなど）
長距離の探索ではルート計算時間が長くなる場合もあります。
或いは途中に経由地を設定すると計算時間が短くなります。

・走行中リルートできない場合
ルートから外れてルート計算ができない細街路を走行する場合はリルートができず、直前のルートをそのまま表示する場合があります。
この場合はなるべく元のルートに戻ってください。
ルート以外の幅の広い道路に入るとリルートを開始するのでなるべく近くの幅の広い道路を走行してください。
長距離でのリルートの場合は時間がかかりますので、なるべく安全な場所に一時停車してからリルートを行ってください。

経由地を設定する（1）

・目的地までのルートを探索する時に経由地を設定するとことによって希望するルートに近い案内を探索することができます。
・経由地は最大5ヶ所まで設定できます。

・経由地の「未設定」をタッチすると経由地編集画面に変わります。
経由地が設定されてる場合はその地点や施設名が表示されます。

・検索方法をタッチします。
例）検索履歴から設定します。

・検索履歴をタッチします。

・最近検索した履歴が表示されます。
・この中から経由地に設定したい地点を選びます。或いは経由地に設定したい道路、地点に近い地点を選んで地図を表示し、移動して指定します。

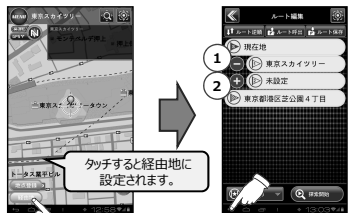
経由地を設定する（2）

・「経由地」アイコンをタッチすると経由地に設定されます。

経由地を設定すると設定地点から一番近いルート走行可能な道路にルートが設定されます。より正確なルート走行のために経由地はなるべく通りたい道路に設定してください。道路から離れた地点に設定すると経由地付近でルートが遠回りすることがあります。

・設定した経由地を削除したい場合は①ボタンをタッチします。
・さらに経由地を追加したい場合は②ボタン（未設定）をタッチします。
　最大5箇所まで登録が可能です。
　ルート走行時には上から順番に計算されます。

・登録を完了するには本体の「戻る」ボタンをタッチします。

・「探索開始」をタッチするとルート探索を開始します。

経由地設定時の注意点

経由地を設定すると設定地点から一番近い道路を選択してルートを探索します。設定地点によってはルート探索結果が経由地付近で最適にならない場合もあります。経由地設定機能を有効に利用するためには次の事項に注意してください。

1）経由地に寄りたい場合
地点検索をすると道路から離れた場所になりますので地図を移動してなるべく経由地の近い道路上に地点を設定してください。
道路上に設定しないと経由地に案内できない場合があります。

2）経由地に寄らず、その周辺の主要道路を通過して目的地に向かいたい場合
経由地を検索してその周辺の主要道路上に地点を設定してください。

3）経由地の案内
経由地設定地点の約300m前で“まもなく経由地周辺です”と音声案内を行います。音声案内後、リルートする時は案内した経由地は設定が解除されて現在地を出発地として次の経由地を通るようにルート探索を行います。

4）次の様な経由地設定ではルート探索が失敗する可能性があります。
・一方通行道路上に経由地を設定する。
・道路からかなり遠く離れた地点に経由地を設定する。
・経由地の間を道路判別ができないほど近く設定する。
・海、島などに経由地を設定する。

5）複数の経由地を登録した場合、目的地までの走行距離が長くなる場合があります。

6）経由地の登録が多くなると、ルート探索に時間がかかります。
設定した探索条件によっては探索が終了しない場合があります。その場合には経由地を減らしたり、目的地を変更するなど条件を変更して探索を行ってください。

（ルート保存）

ルート編集画面から設定したルートを保存することができます。
ルート編集画面で「ルート保存」ボタンをタッチすると、設定したルートが保存されます。
登録したルートは「ルート呼出」をタッチして利用することができます。

ルート編集の後、「探索開始」ボタンをタッチすると、ルート情報画面に移ります。
ルート情報画面から「ルート走行」ボタンをタッチすると、ルート案内を開始します。

※情報画面の走行距離は参考値です。
実際の道路状態により異なる場合があります。

※所要時間は道路別の平均走行速度を推定して計算した参考値です。
本製品では平均速度を一般道路は時速30㎞、高速道路は時速80㎞で計算していますので実際の所要時間と誤差が生じる場合があります。

出発地周辺の地図が表示され、ルート案内が始まります。
案内を終了したい時は「案内終了」ボタンをタッチします。
また、ルート案内中に地点検索やルート編集を行う場合は案内中のルートは自動的に削除されますので、ご注意してください。

細街路を含む案内ルートの場合、通行できない場合や、同じ場所を繰り返し案内することもありますので実際の道路状況や交通規制に従って迂回してください。

ルート設定・情報画面

ルート設定画面

1. 出発地
出発地点を設定します。

2. 経由地
経由地を設定します。

3. 目的地
目的地点を設定します。

4. 探索開始
設定した条件で探索を始めます。

5. ルート探索条件
ルートを探索するときの道路条件を設定します。

ルート情報画面

1. 所要時間
目安となる所要時間です。一般道路は時速30㎞、高速道路は時速80㎞での走行を基準に算出しています。

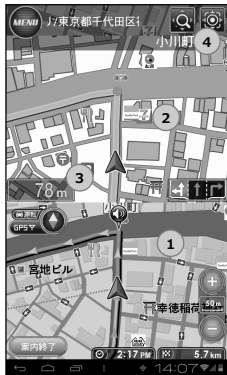
2. 走行距離
ルートの総距離を表します。（参考値）

3. 案内開始
ルート案内を開始します。

4. デモ走行
探索したルートをデモ走行します。

5. ルート情報
探索されたルートの、右左折地点など主要ポイントを見ることができます。

6. 他ルート
ルート探索の道路条件を変更します。

1. **方位表示/地図方向**
2. **GPS電波受信状態**
3. **縮尺表示**
4. **メニュー**
5. **自車位置/進行方向**
   現在車両の位置を表示します。（GPS受信時）
6. **道路名/行政名**
   走行している道路の通称名と行政名を交替で表示します。
   （表示されない道路もあります。）
7. **案内終了**
   ルート案内を中止します。
8. **進行方向表示**
   交差点や高速道路出入口など、進路変更の方向とその地点までの距離を表示します。
9. **目的地までの距離と到着予定時間**
   ・目的地までの残距離ですが、ルート探索結果によって表示距離が異なる場合があります。
   ・目的地到着予定時間を参考として表示しますが、実際の走行速度により表示内容が変わります。
10. **交差点名・インターチェンジ名など表示**
    画面に表示されている交差点やインターチェンジなどの名称を表示します。
    （表示されない交差点名もあります。）
11. **目的地方向線**
    目的地がある方向を点線で表示します。

1. 地図表示画面
地図を表示します。
地図の縮尺は、あらかじめ設定することができます。

2. 交差点等詳細表示画面
交差点など進路変更をする地点付近を拡大して表示します。

3. 地点までの距離表示
進路変更をする地点までの距離を表示します。

4. 交差点名表示
この画面に表示されている交差点やインターチェンジなどの名称を表示します。
（表示されない交差点名もあります。）

※右左折など進路変更がある地点付近では、約250m手前から2画面表示になります。
右画面では詳細図が表示されます。

※実際の道路上の表示と異なる場合があります。

1．地図表示画面
地図を表示します。
地図の縮尺は、あらかじめ設定することができます。

2．高速道路情報
インターチェンジやジャンクション、サービスエリアなどの高速道路の情報を表示します。
高速道路を走行中のみ距離の近い順に表示します。

3．高速道路名･行政名
走行中の高速道路名と行政名を交替で表示します。

4. ジャンクションイメージ

案内地点約1km手前から高速道路上のジャンクション、出口のイメージを表示します。

高速分岐での案内

分岐左です。

分岐右です。

分岐左です。

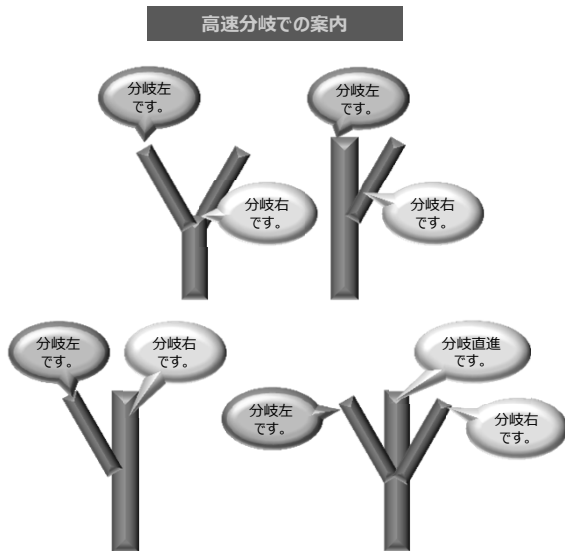
分岐右です。

分岐左です。

分岐右です。

分岐直進です。

分岐左です。

分岐右です。

拡大図の表示・非表示

・交差点や高速道路の2画面表示中に「拡大図」をタッチすると、拡大図を閉じて地図画面を大きく表示します。

・タッチにより設定を変更するとルート走行中に適用されます。

手動リルート

・案内走行中にルートを外れたとき、その地点から再び目的地までのルートを探索するのが、リルート機能です。本機では案内ルートから約100m離れた場合、自動的にリルートする〔オートリルート〕を設定することができます。オートリルートしないときは、案内画面に「リルート」アイコンが表示され、ルートの再探索が可能です。オートリルートの設定は、案内設定から行います。

・手動に設定した場合、ルートを外れると案内をしなくなりますが、ルートに戻ると案内を再開します。

※GPS受信状態が良くない場所などで、頻繁にリルートを繰り返す場合は手動を推奨いたします。

※目的地までの距離が遠い場合や経由地を多数設定している場合にはリルートに時間がかかる場合があります。

※リルートする時点にGPS受信ができない場合は、残り距離と残り時間の情報は更新されない場合がありますが、GPS受信ができれば情報が更新されます。

※実際はルートを外れていなくても、GPS電波の誤差により、ナビゲーションがルートを外れていると認識することもあります。この時に、ルートのリルートを自動または手動で行っても画面の自車位置が道路上にいない場合は探索ができない場合があります。
幅の広い道路などGPS電波を受信しやすい場所に移動し、本機の位置が道路上にあることを確認してからリルートなどの操作を行ってください。

※ルートの出発地点を既に通過している場合があります。

・ルート計算には4つの方法が用意されています。
　状況に応じて最適な方法を選んでください。

・ルート探索が終わると探索結果が表示されます。

・各条件別のルート結果を比較できます。
・「ルート走行」を選択するとルート案内を始めます。

〔おすすめ〕

〔一般優先〕

〔高速優先〕

〔距離優先〕

オービス設置地点

オービス警告時

走行中、前方の安全速度に注意が必要な区間（固定式のオービス設置地点）では安全運転のために案内します。

・案内ポイント：全国の固定式オービス設置箇所です。
・走行中の道路に並行して道路がある場合は隣の道路のオービス地点を案内する場合もあります。
・GPSの誤差により周辺の地点を案内する場合もあります。
・オービス案内は設定により約2km/1km/500m付近手前で案内をします。

※2km/1kmは初期設定を変更している場合のみ案内します。
　但しオービス設置場所の道路状況によっては案内しない場合があります。

・オービス設置地点を通過するとメロディが鳴ります。
・経路案内とオービスの案内が重なる場合は経路案内を優先して案内します。
・オービス案内は参考情報です。実際の位置と異なる場合がありますので、安全運転にご注意ください。

※オービス案内は全国すべての設置場所を登録しているわけではありません。
　また、既に撤去されている場合もあります。

検索履歴でルート設定

目的地や出発地の設定の方法は、住所から検索する以外の方法もあります。

検索履歴から目的地・出発地を設定する

・画面をスクロールさせ、次画面に移動することができます。
・検索履歴は、新しいものから順に保存されています。
　よく使う地点は地点登録をすることをおすすめします。

・検索履歴は、〔日付順〕〔名称順〕〔頻度順〕に整列することができます。

検索した場所は保存されますが、スクロールして移動した場所は保存されません。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。

・地図の縮尺を変更して選択した地点を確認します。

・〔目的地〕をタッチすると、目的地に設定します。
　〔ルート編集〕画面から〔探索開始〕をタッチすると、ルート探索を開始します。

保存したルート情報を設定したい場合は、ルート編集画面から〔ルート呼出〕をタッチします。

・保存したルートのリストが表示されます。

・リストから設定するルートをタッチします。

・〔確認〕ボタンをタッチすると、選択したルートを呼び出します。

・選択したルートで出発地と目的地が設定されます。
探索条件、経由地などを設定して探索開始を行います。

・「探索開始」をタッチするとルート探索を開始します。

・デモ走行では、事前にどのようなルートを通るのか、どのような音声案内を行うのかを実際に見ることができます。

・出発地、目的地、経由地を設定した後、探索開始をタッチするとルートを探索し、所要時間、走行距離などの情報が画面に表示されます。

・画面から〔デモ走行〕をタッチすると、デモ走行が開始されます。

※画面の「SPEED－/＋」ボタンでデモ走行の速度を調整することができます。

・デモ走行が終了すると、自動的にルート情報画面に戻ります。

ルート情報を見る

検索したルートを事前に確認することができます。

・画面のルート情報をタッチすると、交差点、JCTなどが表示されます。

・確認する交差点名などをタッチします。

・ルートの詳細は、ルート上で右折や左折、高速道路の出入口など、進路変更が
必要な地点ごとに見ることができます。
出発地から近い順に地点が表示されます。
交差点の場合、名称がついている場所は交差点名が表示され、名称がない
交差点は「交差点」と表示されます。

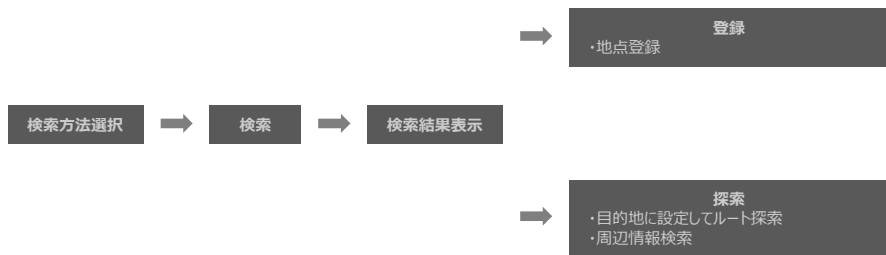
・地点を選択すると地図上に案内ポイントを表示します。

・〔前案内〕ボタンをタッチすると、前の案内地点を表示します。
・〔次案内〕ボタンをタッチすると、次の案内地点を表示します。

・上側の〔戻る〕ボタンをタッチするとルート情報画面に戻ります。

4．地点検索

地点検索～登録の流れ

目的地付近の地図を表示しルート探索するには、以下の手順で操作します。

地点検索を呼び出す

地点検索はさまざまな方法で目的の地点を検索し、地図画面を表示します。
検索した地点を目的地に設定してルート案内を行ったり、その地点を登録しておくこともできます。
ここでは住所から地点を検索し、登録する方法を説明します。

・地点検索画面を呼び出す為には、
現在地画面から「メニュー」をタッチします。

・メニュー画面から「地点検索」をタッチすると、地点検索画面に移ります。

登録地点

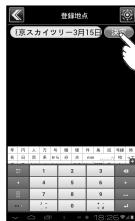
・地点検索から〔登録地点〕をタッチします。

・登録地点が表示されます。
　調べたいカテゴリー（フォルダ名）をタッチします。

※（　）中の数字は現在の登録件数です。
※出荷の時は〔ドライブスポット〕フォルダだけですが、ユーザーが登録フォルダを追加
　することができます。（最大9個まで）
※フォルダを追加すると、〔新しいフォルダ〕の名称に追加されますが、フォルダ名を
　編集することができます。

・登録地点のリストが表示されます。
・リストから目的の登録地点を選択します。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。
〔ここへ行く〕をタッチすると、現在地から選択した地点までのルートを探索します。

登録地点の編集

・メニューから〔地点登録〕→〔登録地点〕に移動します。

・編集するフォルダを選択して、上側の〔編集〕ボタンをタッチします。

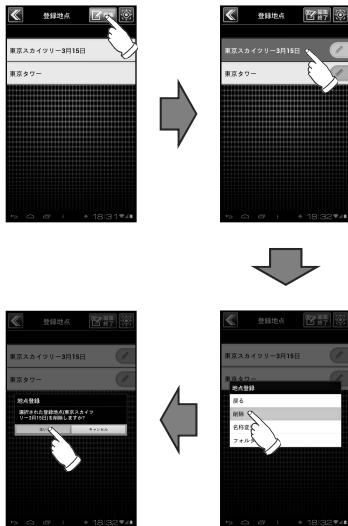
・リストから編集したい地点名を選択して〔削除〕〔名称変更〕〔フォルダ変更〕など
の操作ができます。〔名称変更〕をタッチします。

・名称変更をタッチすると、設定されているキーボードが表示されます。
変更したい名称を入力します。

※キーボードの使用方法はキーボードにより異なる場合があります。

・編集後に、「決定」ボタンをタッチすると、入力した名称に変更されます。

・登録地点を削除したい場合は、登録地点画面から〔編集〕をタッチします。

・リストから削除したい地点を選択します。

・メニュから「削除」をタッチして、〔はい〕をタッチすると、選択した地点を削除します。

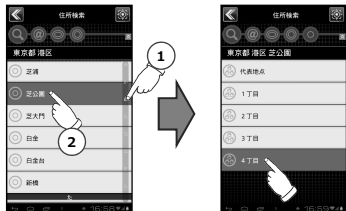
※データを一度削除すると復元できませんので削除する前には、必ず再度ご確認してください。

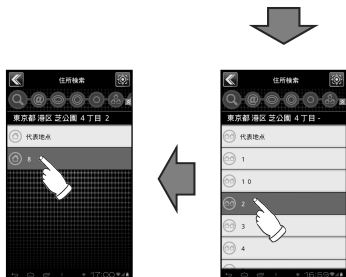
※同じ地点を再登録したい場合は地点検索後に地点登録を再度行う必要があります。

・地点検索メニューから〔住所検索〕をタッチします。

例）東京都港区芝公園4丁目2-8

・目的地の都道府県を選びます。
・〔東京都〕を選択します。
①右側のインデックスから（た）をタッチして「た」行に移動させます。
②その後、「東京都」をタッチします。

・〔港区〕を選択します。
③右側のインデックスから（ま）をタッチして「ま」行に移動させます。
④その後、「港区」をタッチします。

・町名を選びます。
「芝公園」をタッチします。
①右側のインデックスから（さ）をタッチして「さ」行に移動させます。
②その後、「芝公園」をタッチします。

・4丁目を選びます

・番地をタッチします。

・「2」をタッチします。

・「号」が表示されます。

・リストから「8」をタッチします。

住所検索（3）

・選択した地点周辺の地図が表示されます。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールさせて目的地を探してください。

※この地点を目的地に設定してルート走行を行いたい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

地点を登録する

地図画面で登録したい地点まで地図を移動します。

・画面メニューから〔地点登録〕をタッチします。

⃠ 走行中、運転者による登録操作はしないでください。
事故の原因や道路交通法違反になります。

・登録するフォルダを選択します。
・フォルダ追加ボタンを押してフォルダ名を追加して登録することもできます。

・地点登録すると登録した地点が地図上に表示されます。

※地点の登録は500件まで可能です。500件を超えて地点を登録すると、登録できませんとメッセージが表示されるので、不要な登録地点を削除してから登録してください。

検索履歴

地点検索を行う方法は、住所から検索する以外にもあります。

いろいろな方法で地点を検索する。

・検索履歴から地点を検索する。
「地点検索」から〔検索履歴〕をタッチします。

・過去に検索された地点は、新しいものから順に表示されます。
この中から検索したい地点をタッチします。

・検索履歴は、新しいものから順に保存されています。

・よく使う地点は地点登録をすることをおすすめします。
・検索履歴は、〔日付順〕〔名称順〕〔頻度順〕に整列することができます。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面を拡大・スクロールして目的地を探してください。

※この地点を目的地に設定してルート走行したい時は、〔ここへ行く〕ボタンをタッチします。

ジャンル検索（1）

お店や観光地などのスポット情報など、目的に合わせた施設を検索し、周辺の地図を表示することができます。

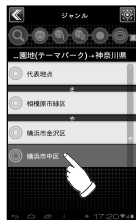
・「地点検索」から〔ジャンル〕をタッチします。

例） 神奈川県横浜市中区の遊園地よこはまコスモワールドを検索します。

・〔遊ぶ・趣味〕をタッチします。

※画面をスクロールさせ、次画面に移動することができます。

・〔遊園地 （テーマパーク） 〕をタッチします。

・右側のインデックスから （か） 行をタッチしてリストから〔神奈川県〕をタッチします。

・リストから〔横浜市中区〕をタッチします。

・「よこはまコスモワールド」をタッチします。

※同名称が複数表示される場合があります。

※ジャンルによっては、選択したエリア以外の同じ都道府県内の施設を、検索、表示する場合もあります。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールして目的地を探してください。

※この地点を目的地に設定してルート走行したい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

駅名検索

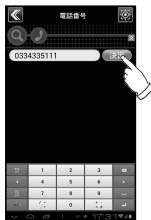
全国のJR・私鉄・地下鉄・その他鉄道の駅を検索することができます。

・「地点検索」から〔駅名検索〕をタッチします。

・駅名の入力は、次のように行います。

1. 検索したい駅名をひらがなで入力します。
2. 画面のひらがなをタッチしていくと、その行の文字が順に表示されます。
3. タッチしないと表示文字は1秒後に確定しカーソルが移動します。
   確定前でも異なる行の文字は連続入力が可能です。
4. 「だ」「ぱ」などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後、〔゛°小〕を入力します。
5. 「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」など小さい文字は、ひらがなを入力した後で〔゛°小〕を選びます。
6. 文字入力後は「決定」を押します。画面に候補となる駅名が表示されます。
   目的の施設をタッチします。

・入力した文字で始まる駅名が表示されます。
　リストから目的の施設を選択します。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。
※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールして
　目的地を探してください。
※この地点を目的地に設定してルート走行したい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

本製品にはハローページに掲載されている全国の施設、お店、企業などの電話番号が収録されています。

・「地点検索」から〔電話番号〕を選びます。

・電話番号の入力は、次のように行います。

1. 市外局番を含む番号を入力します。
2. －（ハイフン）は入力しません。
3. 数字入力後は「決定」を押します。
4. 一致するデータがない場合は電話番号による検索はできません。他の検索方法で地点を探してください。

・入力により候補となるリストが表示されます。
リストから目的の施設を選択します。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールさせて目的地を探してください。

※この地点を目的地に設定してルート走行を行いたい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

名称入力検索

行き先の施設名がわかる時は名称を直接入力することで地点を検索することができます。

・「地点検索」から〔名称検索〕をタッチします。
例）東京タワー

・名称の入力は、次のように行います。

1. 検索したい駅名をひらがなで入力します。
2. 画面のひらがなをタッチしていくと、その行の文字が順に表示されます。
3. タッチしないと表示文字は1秒後に確定しカーソルが移動します。確定前でも異なる行の文字は連続入力が可能です。
4. 「だ」「ぱ」などの濁音、半濁音は、ひらがなを入力した後、〔゛°小〕を入力します。
5. 「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」など小さい文字は、ひらがなを入力した後で〔゛°小〕を選びます。
6. 文字入力により候補となる漢字などが表示されます。目的の施設名に変換してください。その後、「決定」を押します。
7. 画面に候補となる施設が表示されます。目的の施設をタッチします。

※名称検索は、ひらがなでは検索できず、変換が必要です。

・一致または入力した文字が含まれるデータがある場合画面に表示されます。
目的地に設定した名称をタッチしてください。
名称検索は正式名称の頭文字が正しく入力されないと、表示されません。

※電話番号検索データおよび施設名登録データの両方から抽出してありますので、同名称が複数表示される場合があります。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。
※この地点を目的地に設定してルート走行したい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

周辺検索では、選択された地点周辺の施設を検索し、目的地にすることができます。
施設は周辺10km以内の近い順に候補として検索されます。
（ジャンル・地点により検索件数が異なります。）
ここでは、現在地の周辺施設を検索する方法を表示します。

・「地点検索」から画面の〔周辺検索〕をタッチします。
※GPS電波を受信できないときは、最後にGPS電波を受信した位置が現在地として表示・認識され、周辺施設もこの地点を基準に検索します。

・詳細ジャンル〔カー用品店〕→〔オートバックス〕をタッチします。

・リストから目的の施設をタッチします。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールして目的地を探してください。

※この地点を目的地に設定してルート走行したい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

表示中の地図を移動、拡大・縮小しながら地点を検索することができます。

・「地点検索」から〔地図検索〕をタッチします。

・地図画面になります。
・設定したい方向に地図を移動させます。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールして目的地を探してください。

※この地点を目的地に設定してルート走行したい時は、〔ここへ行く〕をタッチします。

※現在地を表示している状態からも同様に検索できます。

地点の正確な座標が分かる場合は、座標を直接入力して地点を検索することができます。

・検索メニューから「緯度経度」をタッチします。
・緯度を入力します。

・次に経度をタッチして経度を入力します。

※入力する座標の測地系が設定された測地系と異なる場合には、表示される地点に最大400m程度の誤差が生じるのでご注意ください。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。
このとき正しく入力されていないと表示されません。

※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールさせて目的地を探してください。

※測地系の初期値は、日本測地系です。世界測地系で入力したい場合は、「設定」→「測地系設定」から変更してください。

5. 徒歩案内

徒歩案内の流れ

地点を検索し、徒歩案内を利用するためには、以下の手順で操作します。

※簡易徒歩モード使用時のご注意
徒歩モードは、現在地から目的地まで直線方位を案内するモードです。
マップマッチングを行わない簡易方向案内になりますので、GPS受信状態により現在地が大幅にずれる場合があります。
また簡易徒歩モードでは一部機能が制限されます。

運転モードから簡易徒歩案内を行うためには、「モード切換」ボタンをタッチします。
次の画面から「はい」をタッチすると、簡易徒歩モードに切り換わります。

地点検索から検索した地点を目的地に設定して徒歩案内を行うことができます。
（現在地画面から地図をスクロールさせ、設定することも可能です。）

ここでは地点検索を利用し、徒歩案内することを説明します。

・地点検索画面を呼び出す為には、
　現在地画面から「メニュー」をタッチします。

・メニュー画面から「地点検索」をタッチします。

・地点検索メニューから「検索履歴」をタッチします。

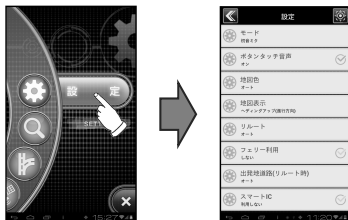
・検索したい地点をリストから選択します。

・選択した地点周辺の地図が表示されます。
※表示された地点と目的の地点が離れているときは、画面をスクロールさせて目的地を探してください。

・「ここへ行く」をタッチすると徒歩案内を始めます。

・徒歩案内を中止したい時は「案内終了」ボタンをタッチします。

6. 案内設定・GPS/システム情報

案内設定を変更するには

案内設定では、ルート走行中の画面の表示や音声案内などの方法を一部変更することができます。案内設定をするには、メニュー画面から〔設定〕をタッチします。

設定項目がリストで表示されます。この画面では、各項目の現在の設定が表示されます。設定したい項目をタッチすると、変更画面が表示されます。

ナビゲーションモード

本ナビゲーションでは、4つのモードを選択してご利用することができます。
設定したナビゲーションモードにより〔自車アイコン〕と〔音声案内〕が変更されます。

■ナビ標準
ナビアプリ標準の音声、自車アイコンに設定します。

■初音ミク標準
初音ミクの音声、自車アイコンに設定します。

■初音ミク SWEET
初音ミク SWEETの音声に設定します。
自車アイコンは初音ミク Appendになります。

■初音ミク DARK
初音ミク Append DARKの音声に設定します。
自車アイコンは初音ミク Appendになります。

ボタンタッチ音声を設定します。

メニューの操作など、ボタンをタッチする時に初音ミクの音声で発話します。
全てのボタンには設定されていません。
収録されていない音声や、表記と異なる音声があります。

地図の背景色を変更します。

〔昼モード〕
地図の背景色は薄い黄色で表示されます。

〔夜モード〕
地図の背景色が黒で表示されます。道路色などは昼モードと共通です。

〔オート〕
現在の時刻を参考して自動的に切り替わります。（GPS受信時）
・4月～9月：18：00～翌6：00の間は夜モードに切り換ります。
・10月～3月：17：00～翌7：00の間は夜モードに切り換ります。

〔昼モード〕

〔夜モード〕

地図の表示の方法を変更します。

〔ヘディングアップ（進行方向）〕
常に走行方向が画面の上を向くように、進行方向に対応して地図の向きを変化させます。

〔ノースアップ（北上固定）〕
常に北が画面上になるように地図を表示します。

〔3Dビュー〕
簡易3D画面で前方の画面を広く表示します。

走行中にこのアイコンをタッチすると順番に変わります。
地点検索後の地図画面やルート情報画面では動作しません。

進行方向

北上固定

3Dビュー

ルート走行中にルートを外れた時、リルート（ルートの再探索）に関する
設定です。〔オート〕・〔手動〕を設定します。

〔オート〕
案内ルートから約100m以上離れると自動的にリルートします。

〔手動〕
オートリルートは行いませんが、案内画面左下に〔リルート〕が表示され、いつでも
リルートが可能になります。

※案内ルートに戻るとルート走行を再開します。

手動リルートの場合、
「リルート」ボタンを押すと、
距離に関係なく
リルートを開始します。

フェリー利用・出発地道路設定（リルート時）

フェリーを利用する場合に設定してください。

※普通のルート計算では「しない」に設定してください。
「する」に設定するとルート計算時間が長くなります。

・設定結果はルート設定画面と連動して変わります。

出発地の道路種別を指定します。
高速と一般道路が並行する場所などでは道路を設定する
ことにより正確なルート案内ができます。

※道路状況によっては、ルート走行が設定した出発地道路に
ならない場合があります。

・システムを再起動すると「オート」に変わります。

スマートIC

スマートIC利用を選択します。

「する」を選択するとルート探索時、スマートICを利用してルートを探索します。
この場合、必ずETCカードを車載器に挿入してご通行ください。
また、利用できる時間帯や車種などに制約がありますので、ご理解の上ご利用ください。

ETC車載器を搭載していない車両は「しない」で設定してください。

※スマートIC利用を〔しない〕に設定した場合でも走行中の道路状況により
　スマートICを通じてルート案内する場合があります。

ルート案内方法を設定します。

〔音声〕
音声で案内を行います。

〔警告音〕
音声案内はせず、警告音のみです。

〔しない〕
音声・警告音による案内をせず、画面の表示のみで案内します。

オービス案内方法を設定します。

〔音声〕
音声で案内を行います。

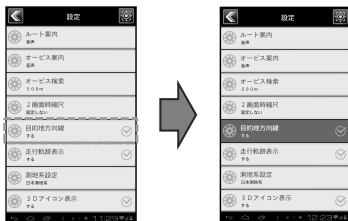
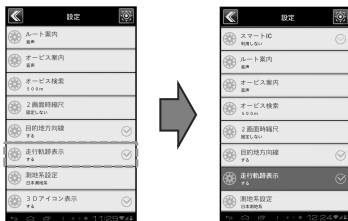
〔警告音〕
メロディーで案内します。（500m、300m、通過点）

〔しない〕
音声、メロディーは出さないで警告画面のみ表示します。
〔しない〕と設定すると、地図画面にアイコンも表示しません。

オービス検索は設定により約2km/1km/500m付近手前で
検索できます。

交差点周辺や高速道路の2画面の表示する時、地図画面の縮尺を自動で切り替えます。

〔50mスケール 〕
〔100mスケール〕
〔250mスケール〕
〔固定しない〕

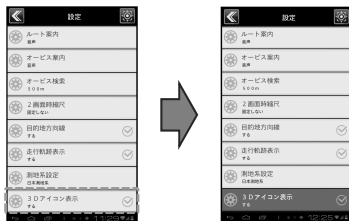
目的地を指す方向線を表示します。

走行した軌跡を白丸で地図上に表します。

〔する〕
軌跡を地図上に表示します。
地点は走行中1秒ごとに記録され、一定距離で消去されます。
※電源を切ると自動的に消去されます。

〔しない〕
軌跡を表示しません。

地図画面で表示する座標と座標検索で利用する測地系を設定します。

初期値は日本測地系です。
世界測地系で入力したい場合は、世界測地系を選択してください。

※緯度経度を入力して検索する場合、座標の測地系が設定された測地系と異なる
　場合は、表示される地点に最大400m程度の誤差が生じるのでご注意ください。

3Dアイコン表示

日本全国の名所の実際の形に近い3Dアイコンを地図上に表示します。

3Dアイコンは100mのスケールまで表示します。

タッチすることにより3Dアイコン表示設定を「する」「しない」を繰り返します。

する

しない

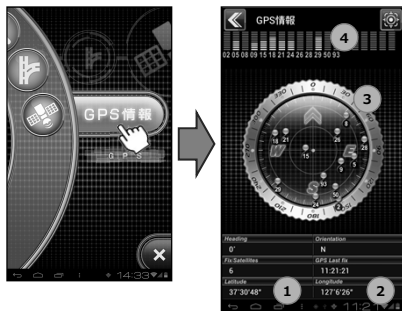
システム情報を確認することができます。

・アプリケーション：ナビゲーションプログラムのバージョン
・地図データ：表示用地図データのバージョン
・経路データ：経路計算用データのバージョン
・検索データ：検索データのバージョン

※本画面は販売製品の表示内容と異なる場合があります。

初期化

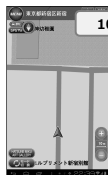
登録した地点、登録ルート、案内設定など既存の個人データをすべて削除することができます。

※初期化すると出庫状態になります。
※初期化された個人データは復元できませんので初期化は慎重に行ってください。

GPS情報を見るには、メニュー画面から〔GPS情報〕をタッチします。
GPS情報画面ではGPS衛星の受信状態が表示されます。

現在地のGPS情報画面が表示されます。

1．経度
2．緯度
3．方位表示
4．GPS電波受信レベル

7．利用時の参考内容

地図表示（スケール表示）

データの概要

・経路探索は2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要道路において実行できます。但し、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が実際は通行が困難な時がありますのでご注意ください。実際の道路状況や交通規制を優先して走行してください。

・地図データは㈱ゼンリンよりリリースされたものです。
・電話番号検索データはハローページをもとに作成しています。
・使用データの調査基準日は以下の通りです。

使用データ〆			2012年8月〆
データ スペック	地図	道路データ（高速・有料道路）	2012年8月
		道路データ（国道・都道府県道）	2012年5月
		交通規制データ	2012年7月
		レーン情報	2012年7月
		簡易市街図	2012年8月
	検索	住所検索データ	2012年7月
		電話番号検索データ（法人のみ）	2012年4月
		50音施設名称検索データ	2012年6月
		施設・ジャンル検索データ	2012年6月
		周辺施設検索データ	2012年6月
		駅名検索データ	2012年6月
	画像	高速分岐イラスト	2012年8月
		高速出口後方面イラスト	2012年6月
		高速出口後分岐イラスト	2012年8月

地図上のアイコン凡例

	都道府県庁舎		市・特別区庁舎		町村・指定都市区庁舎		官庁舎・公共施設
	警察・派出所		消防署		学校		郵便局
	病院		デパート・スーパー		ガソリンスタンド		カー用品店
	インターチェンジ		ジャンクション		サービスエリア		パーキングエリア
	ランプ（出入口）		ランプ（出口）		交差点		駐車場
	工場		飛行場		フェリーターミナル		港
	冬期通行止め		料金所		マリーナ		史跡・名所
	城跡		神社		寺院		教会
	海水浴場		ゴルフ場		スキー場		キャンプ場
	遊園地		動物園		公園		ホテル
	スタジアム		運動施設		植物園		美術館
	博物館		水族館		図書館		その他の目的物
	テーマパーク		城・天守閣		展望タワー		温泉
	山頂		自衛隊		墓地		富士山
	サッカースタジアム		銀行		競馬場・ウィンズ		大学
	短大		高専		高校		中学校
	小学校		特別支援学校		信用金庫		ファミリーレストラン

地図上の3Dアイコン

日本全国の名所の実際の形に近い3Dアイコンを地図上に表示します。
3Dアイコンは100mスケールまで表示します。

東京ドーム

小峰城

茨城県立カシマサッカー
スタジアム

よこはまコスモワールド

フォレストタワー

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

万博公園太陽の塔

OAPタワー

日本武道館

さっぽろテレビ塔

札幌プリンスホテル
タワー

とかち帯広空港

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用した。
（承認番号　平23情使、第192-1035号）」
この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）
本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
この地図に使用している交通規制データは、2012年7月現在のものです。本データが現場の交通規則と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。
この地図に使用している交通規制データを無断で複製・複写・加工・改変することはできません。
この地図データの著作権は、株式会社ゼンリンが所有しています。したがって無断複製等の著作権を侵害する行為は法律によって一切禁止されております。

収録情報について
この地図データの内容は予告なく変更することがあります。
経路探索用は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）上の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。
交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2012年8月、国道、都道府県道についてはおおむね2012年5月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

RM-AT700MK
取扱説明書

AT700MKAC0325001